

住生活基本計画に係る市民意識調査報告書

— 住まい・住生活に関するアンケート調査 —

令和5年3月

鹿 児 島 市

目次

1	調査の概要と回収状況	1
1-1	調査の目的	1
1-2	調査方法	1
1-3	留意事項	1
2	調査結果の概要	2
3	設問毎の集計結果	3
1.	あなたご自身やご家族・住宅等について	3
2.	コロナ禍の住生活の変化について	9
3.	鹿児島市における定住意向について	10
4.	現在の住まい・住環境の評価について	12
5.	今後の住まいに関する意向について	16
6.	住まいの災害対策について	20
7.	住まいの省エネ・環境配慮について	21
8.	住宅関連の認定制度等について	23
9.	高齢期の住まいについて	24
10.	子育て支援について	26
11.	親・子との同居・近居について	26
12.	民間賃貸住宅への入居について	28
13.	現在、所有している住まいの処分・活用について	31
14.	住まいに関して困っていること	33
15.	住生活に関する鹿児島市の取り組みについて	35
16.	その他、鹿児島市における住生活についての意見	37
	参考資料 アンケート調査票	39

1 調査の概要と回収状況

1-1. 調査の目的

住宅政策の基本的な方向性を示す住生活基本計画の策定にあたり、統計資料等では把握できない住まいや住環境に関する市民意識を調査し、今後の住宅政策を検討する上での参考とするため実施した。

1-2. 調査方法

- (1) 調査対象：令和4年10月1日時点で18歳以上の市民3,000名（無作為抽出）
- (2) 回答方法：郵送またはオンライン回答
- (3) 調査期間：令和4年10月26日（水）～11月20日（日）（25日間）
- (4) 回収結果

配布数	回答方法	有効回答数	回収率
3,000名	郵送	911名	30.4%
	オンライン	256名	8.5%
合計		1,167名	38.9%

1-3. 留意事項

- 1) 文章や表、グラフ中の回答割合は、百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。
- 2) グラフ等に記載している「N」は標本数、「n」は該当数（該当する選択肢を回答した標本数）を示している。
- 3) 「設問で定めた数以上を選択している」、「回答がない」などの場合には、「不詳」として集計した。

2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性について

- ・回答者は65歳以上の高齢者が40%、40～64歳が39%となっている。

(2) 現在の住まい・住環境の評価について

- ・68%が「住み続けたい」と回答しており、住み続ける場所を決める際には「買い物環境(61%)」、「治安(60%)」、「医療・福祉(55%)」が重視されている。
- ・住まい・住環境の総合評価は、満足(満足+まあ満足)が69%、不満(非常に不満+多少不満)が18%となっている。

(3) 今後の住まいに関する意向について

- ・今後10年間の住まいの意向は、住み替えが27%、リフォームが19%、建替えが5%となっている。
- ・住み替えの課題、リフォーム・建替えの課題はともに「資金・収入等の不足」が最多で、それぞれ67%、74%となっている。

(4) 個別分野に関する事項

災害	災害の備えを「 <u>特にしていない</u> 」が57%で最多。
省エネ	導入希望は「 <u>窓の断熱化(20%)</u> 」、「 <u>浴室脱衣所の断熱化(19%)</u> 」の順に高く、室内の温熱環境の改善に関心が高い。
関連制度	制度等の利用希望は「 <u>長期優良住宅</u> 」が27%、「 <u>ZEH</u> 」が21%であり、住宅の性能向上に一定の関心がある。
高齢期の希望	高齢期に「 <u>住み慣れた地域で暮らしたい</u> 」は83%であり、「 <u>今の家に住みたい</u> 」が52%と多い。
子育て支援	必要と思う子育て支援は「 <u>保育や医療を受けやすい環境</u> 」が48%、「 <u>子育て施設の充実</u> 」が34%となっている。
同居・近居	<u>48%が同居または近居を希望するも、「親(子)が希望しない」(22%)、「通勤通学への影響」(20%)のため実現していない。</u>
民間賃貸住宅	民間賃貸住宅の <u>入居を拒否されたことがあるのは2%</u>
空き家	<u>現住居以外に所有する住宅の41%が空き家</u> となっている。

(5) 住宅政策全般

- ・特に重要と思う取り組みは、「子育て住宅の取得・住み替えしやすい環境づくり」(34%)、「高齢者等が安心して暮らせる環境づくり」(31%)が多い。

3 設問毎の集計結果

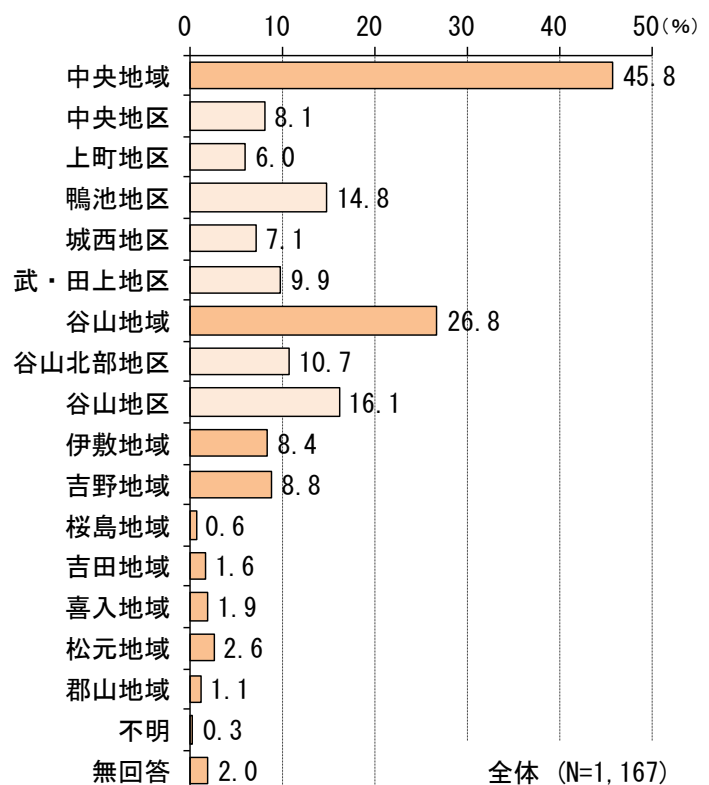
1. あなたご自身やご家族・住宅等について

問1 あなたのお住まいの地域・地区の番号に○をしてください。

・回答者の居住地をみると、最も割合が高いのは「中央地域」で45.8%、次いで「谷山地域」(26.8%)、「吉野地域」(8.8%)、「伊敷地域」(8.4%)となっている。

■地域・地区

区分	票数	構成比%
中央地域	535	45.8
中央地区	94	8.1
上町地区	70	6.0
鴨池地区	173	14.8
城西地区	83	7.1
武・田上地区	115	9.9
谷山地域	313	26.8
谷山北部地区	125	10.7
谷山地区	188	16.1
伊敷地域	98	8.4
吉野地域	103	8.8
桜島地域	7	0.6
吉田地域	19	1.6
喜入地域	22	1.9
松元地域	30	2.6
郡山地域	13	1.1
不明	4	0.3
無回答	23	2.0
合計	1,167	100.0

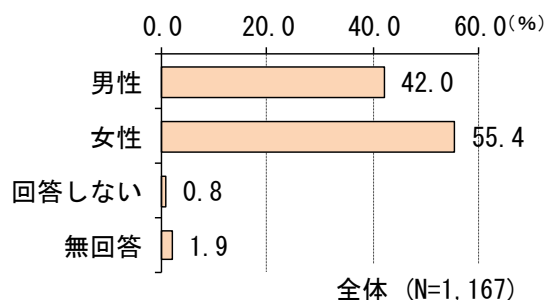


問2 あなたの性別

・回答者を性別にみると、「男性」が42.0%、「女性」が55.4%となっている。

■性別

区分	票数	構成比%
男性	490	42.0
女性	646	55.4
回答しない	9	0.8
無回答	22	1.9
合計	1,167	100.0

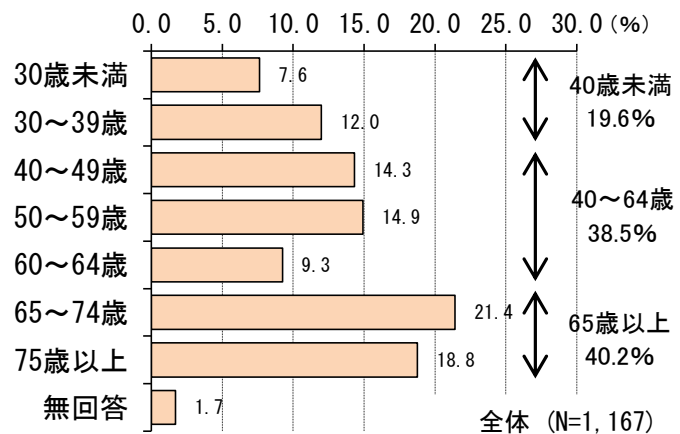


問3 あなたの年齢

- ・回答者の年齢をみると、最も割合が高いのは「65～74歳」で21.4%（250人）、次いで「75歳以上」（18.8%・219人）、「50～59歳」（14.9%・174人）となっている。
- ・年齢を3区分した場合、「65歳以上」は40.2%、「40～64歳」は38.5%、「40歳未満」が19.6%となっている。

■年齢

区分	票数	構成比%
30歳未満	89	7.6
30～39歳	140	12.0
40～49歳	167	14.3
50～59歳	174	14.9
60～64歳	108	9.3
65～74歳	250	21.4
75歳以上	219	18.8
無回答	20	1.7
合計	1,167	100.0

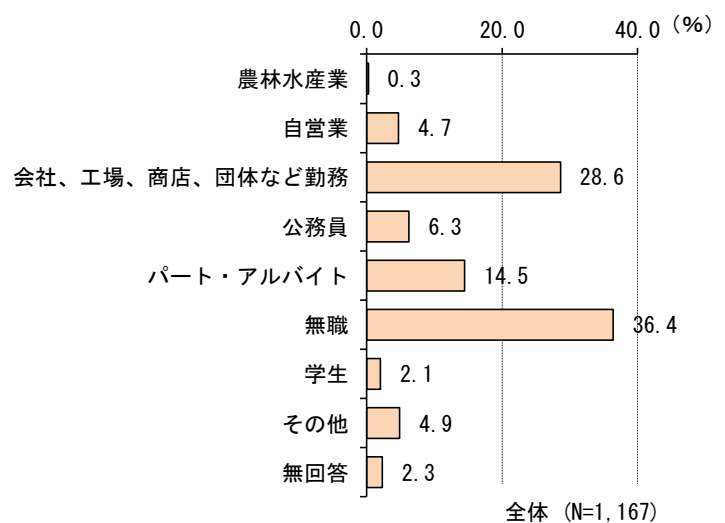


問4 あなたの職業

- ・回答者の職業をみると、最も割合が高いのは「無職」で36.4%、次いで「会社、工場、商店、団体など勤務」（28.6%）、「パート・アルバイト」（14.5%）となっている。

■職業

区分	票数	構成比%
農林水産業	3	0.3
自営業	55	4.7
会社、工場、商店、 団体など勤務	334	28.6
公務員	73	6.3
パート・アルバイト	169	14.5
無職	425	36.4
学生	24	2.1
その他	57	4.9
無回答	27	2.3
合計	1,167	100.0

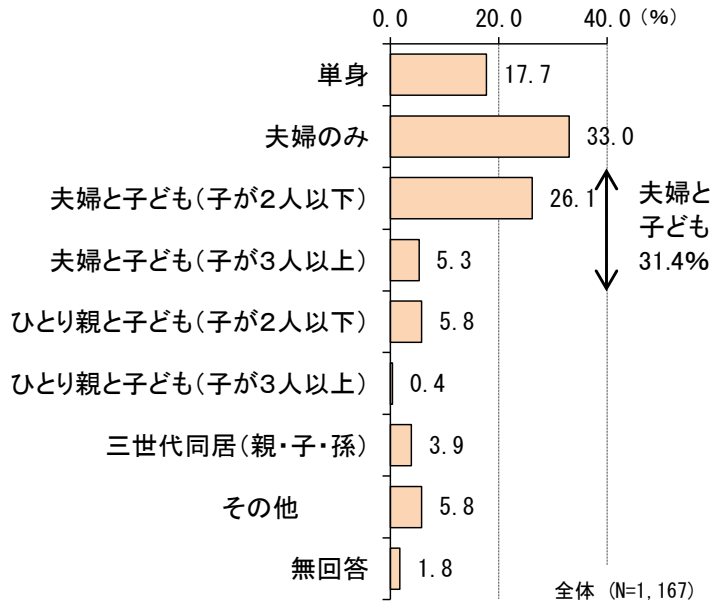


問5 あなたの同居している世帯構成

・回答者の世帯構成をみると、最も割合が高いのは「夫婦のみ」で 33.0%、次いで「夫婦と子ども」(31.4%)、「単身」(17.7%) となっている。

同居している世帯構成

区分	票数	構成比%
単身	207	17.7
夫婦のみ	385	33.0
夫婦と子ども (子が2人以下)	305	26.1
夫婦と子ども (子が3人以上)	62	5.3
ひとり親と子ども (子が2人以下)	68	5.8
ひとり親と子ども (子が3人以上)	5	0.4
三世帯同居 (親・子・孫)	46	3.9
その他	68	5.8
無回答	21	1.8
合計	1,167	100.0

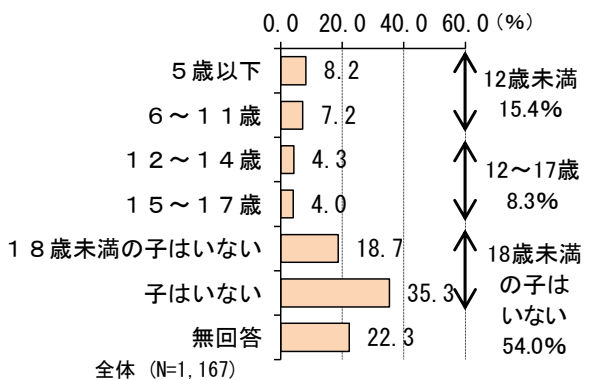


問6 同居中の最年少の子の年齢

・回答者の同居中の最年少の子の年齢をみると、最も割合が高いのは「18歳未満の子はいない」で 54.0%、次いで「12歳未満」(15.4%)、「12~17歳」(8.3%) となっている。

同居中の最年少の子の年齢

区分	票数	構成比%
5歳以下	96	8.2
6~11歳	84	7.2
12~14歳	50	4.3
15~17歳	47	4.0
18歳未満の子はいない	218	18.7
子はいない	412	35.3
無回答	260	22.3
合計	1,167	100.0

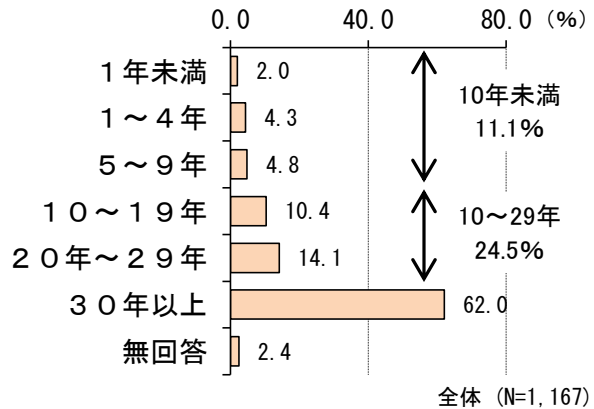


問7 鹿児島市の居住年数（通算）

・回答者の鹿児島市の居住年数（通算）をみると、「30年以上」が62.0%で最も高く、「10～29年」は24.5%、「10年未満」が11.1%となっている。

■居住年数

区分	票数	構成比%
1年未満	23	2.0
1～4年	50	4.3
5～9年	56	4.8
10～19年	121	10.4
20年～29年	165	14.1
30年以上	724	62.0
無回答	28	2.4
合計	1,167	100.0

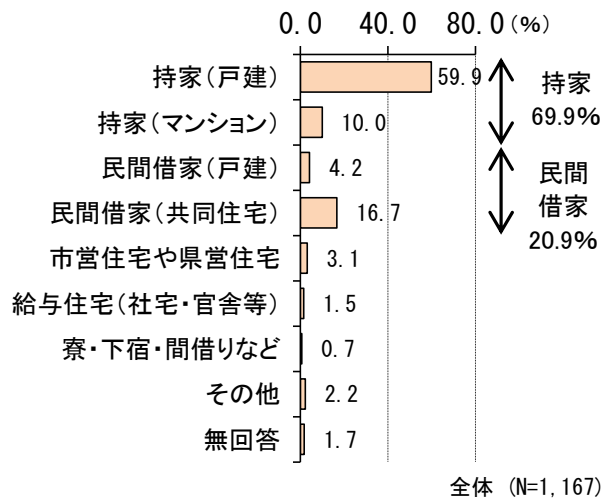


問8 住宅の種類

・住宅の種類をみると、最も割合が高いのは「持家（戸建）」で59.9%、次いで「民間借家（共同住宅）」（16.7%）となっている。
 ・戸建とマンションを合わせた「持家」は69.9%、戸建と共同住宅を合わせた「民間借家」は20.9%である。

■住宅の種類

区分	票数	構成比%
持家（戸建）	699	59.9
持家（マンション）	117	10.0
民間借家（戸建）	49	4.2
民間借家（共同住宅）	195	16.7
市営住宅や県営住宅	36	3.1
給与住宅（社宅・官舎等）	17	1.5
寮・下宿・間借りなど	8	0.7
その他	26	2.2
無回答	20	1.7
合計	1,167	100.0

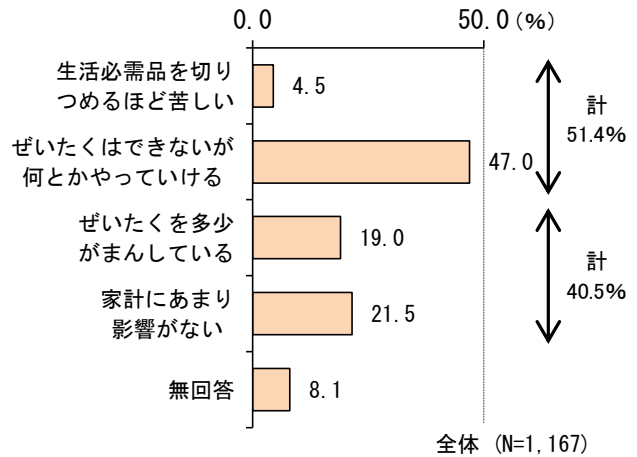


問9 家賃や住宅ローン返済など住居費負担の影響

・住居費負担の影響をみると、「ぜいたくはできないが何とかやっつけていける」と「生活必需品を切りつめるほど苦しい」の合計は51.4%、「ぜいたくを多少がまんしている」と「家計にあまり影響がない」の合計は40.5%となっている。

■住居費負担の影響

区分	票数	構成比%
生活必需品を切りつめるほど苦しい	52	4.5
ぜいたくはできないが何とかやっつけていける	548	47.0
ぜいたくを多少がまんしている	222	19.0
家計にあまり影響がない	251	21.5
無回答	94	8.1
合計	1,167	100.0

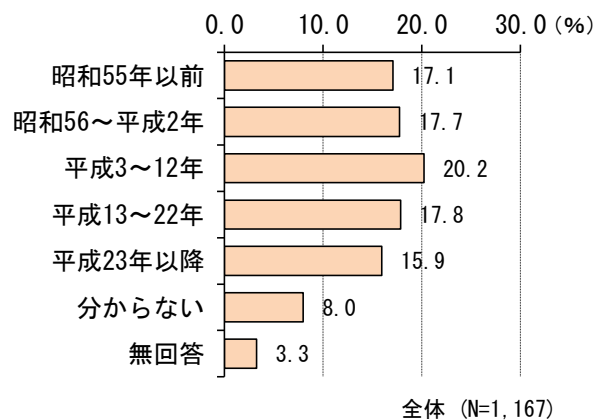


問10 住宅の建築時期

・住宅の建築時期をみると、最も割合が高いのは「平成3～12年」で20.2%、次いで「平成13～22年」(17.8%)、「昭和56～平成2年」(17.7%)、「昭和55年以前」(17.1%)となっている。

■建築時期

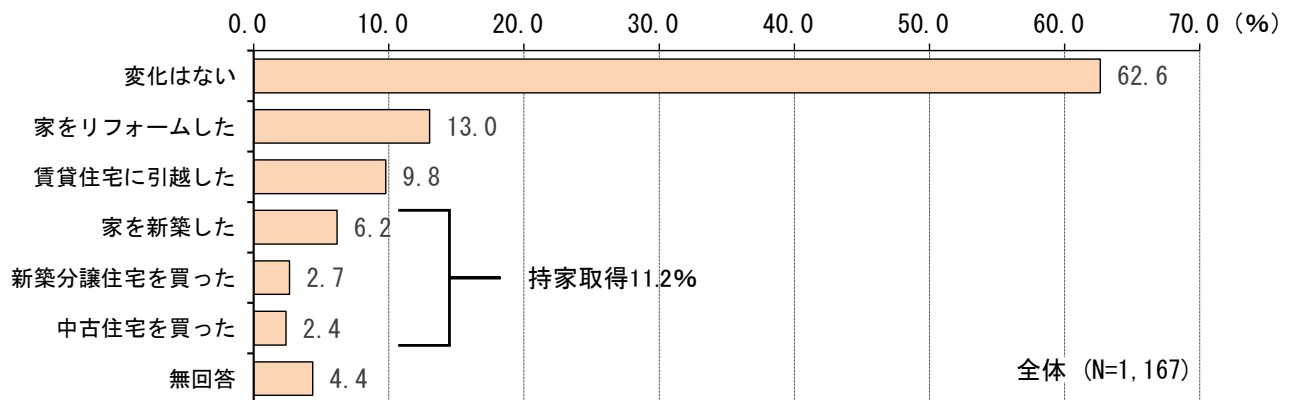
区分	票数	構成比%
昭和55年以前	199	17.1
昭和56～平成2年	207	17.7
平成3～12年	236	20.2
平成13～22年	208	17.8
平成23年以降	186	15.9
分からない	93	8.0
無回答	38	3.3
合計	1,167	100.0



問 11 最近5年の居住状況の変化（複数回答可）

- ・最近5年の居住状況の変化をみると、「変化はない」が62.6%で最も高い。
- ・何らかの変化があったことの中で最も割合が高いのは「家をリフォームした」が13.0%、次いで「賃貸住宅に引越した」（9.8%）である。「家を新築した」など持家取得に関することは11.2%となっている。

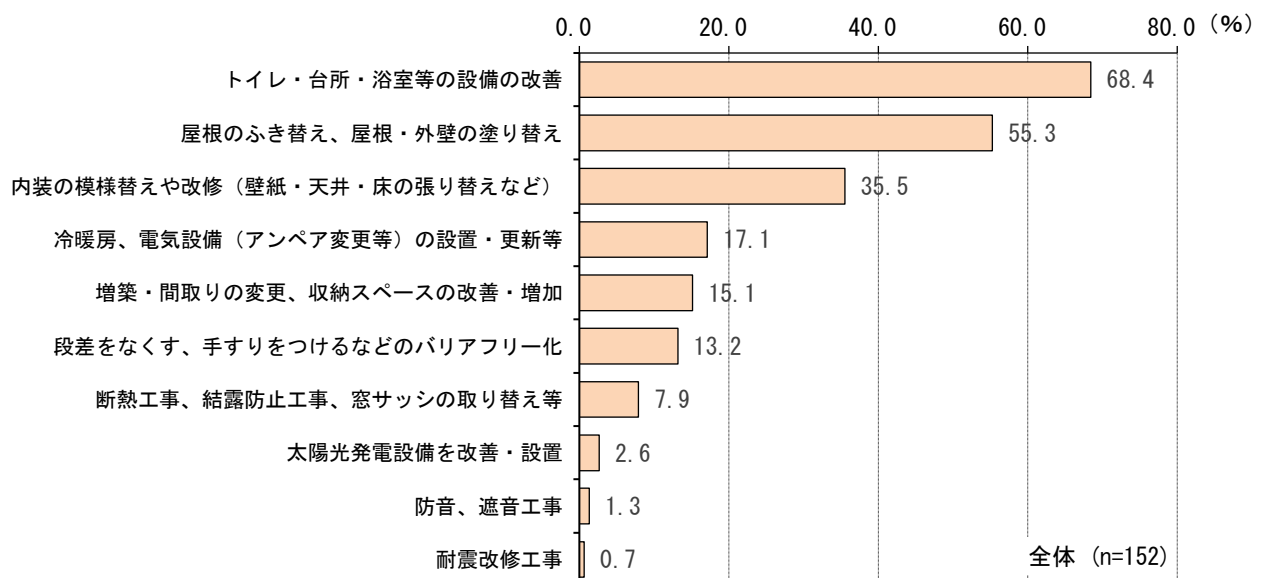
■最近5年の居住状況の変化（複数回答可）



問 12 最近5年のリフォーム状況（持家のみ）（複数回答可）

- ・最近5年のリフォームの状況をみると、リフォームを実施した持家のうち、最も割合が高いのは「トイレ・台所・浴室等の設備の改善」で68.4%、次いで「屋根のふき替え、屋根・外壁の塗り替え」（55.3%）、「内装の模様替えや改修」（35.5%）となっている。

■最近5年のリフォーム状況（持家のみ）（複数回答可）

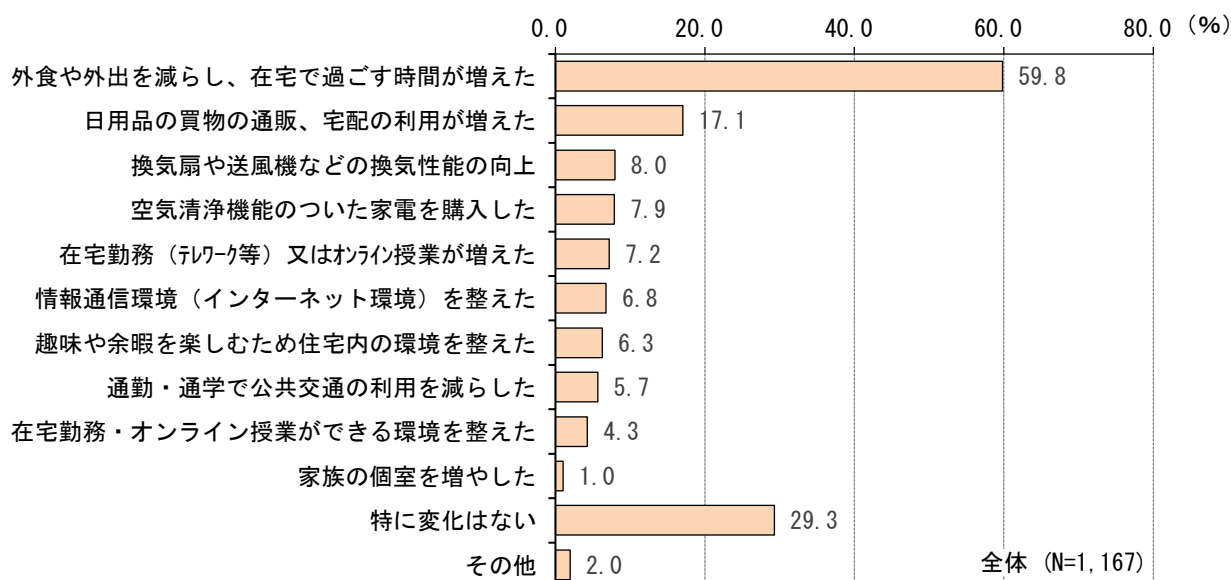


2. コロナ禍の住生活の変化について

問 13 コロナ禍において、住まいや暮らしにどのような変化がありましたか。
(複数回答可)

・コロナ禍における住まいや暮らしの変化についてみると、最も割合が高いのは「外食や外出を減らし、在宅で過ごす時間が増えた」で 59.8%となっている

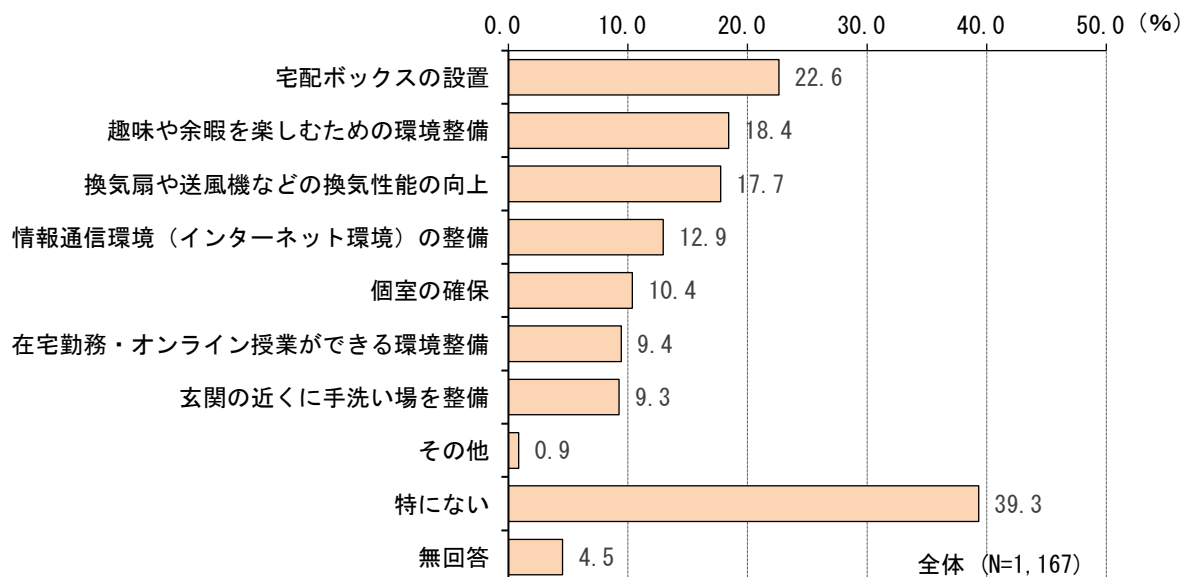
■コロナ禍での住まいや暮らしの変化 (複数回答可)



問 14 コロナ禍に対応して、今後希望する住まいの対策は何ですか。
(複数回答可)

・コロナ禍に対応した今後希望する住まいの対策についてみると、約 2 割が「宅配ボックスの設置」、「趣味や余暇を楽しむための環境整備」、「換気扇や送風機などの換気性能の向上」を挙げている。

■コロナ禍で今後希望する住まいの対策 (複数回答可)

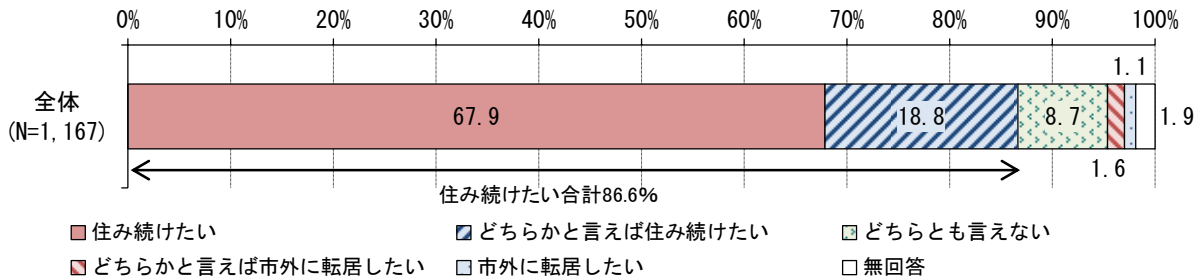


3. 鹿児島市における定住意向について

問 15 あなたは、鹿児島市に住み続けたいと思いますか。

・鹿児島市での定住意向をみると、最も割合が高いのは「住み続けたい」で67.9%、次いで「どちらかと言えば住み続けたい」(18.8%)となっており、合計すると86.6%が「住み続けたい」と思っている。

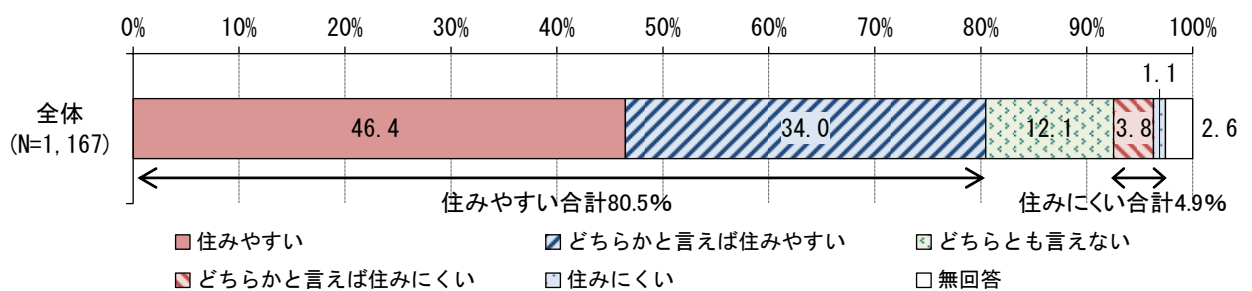
■定住意向



問 16 あなたは、鹿児島市が住みやすいと思いますか。

・鹿児島市の住みやすさの評価をみると、最も割合が高いのは「住みやすい」で46.4%、次いで「どちらかと言えば住みやすい」(34.0%)となっており、合計すると80.5%が「住みやすい」と思っている。

■住みやすさ

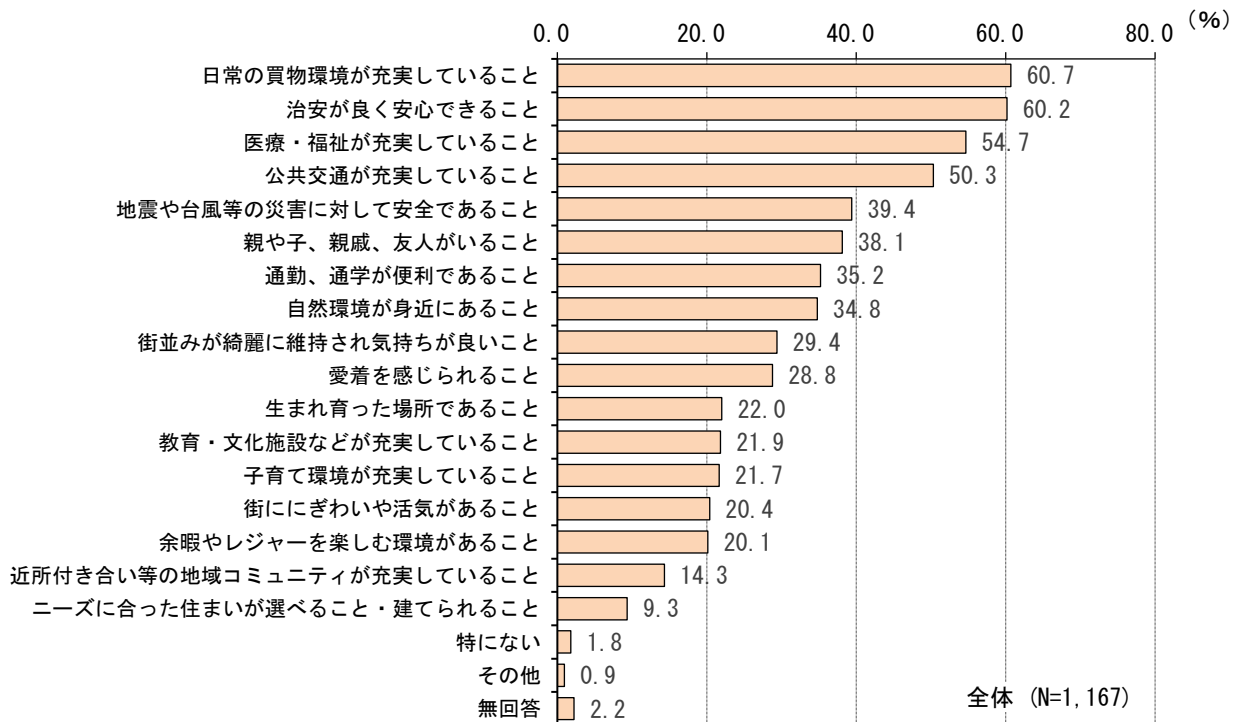


問 17

あなたが住み続ける場所（地域）を決める際に何が重要だと思いますか。
（複数回答可）

・住み続ける場所（地域）を決める際に重要と思うことについてみると、最も割合が高いのは「日常の買物環境が充実していること」で 60.7%、次いで「治安が良く安心できること」（60.2%）、「医療・福祉が充実していること」（54.7%）、「公共交通が充実していること」（50.3%）となっている。

■場所（地域）を決める際に重要なこと（複数回答可）

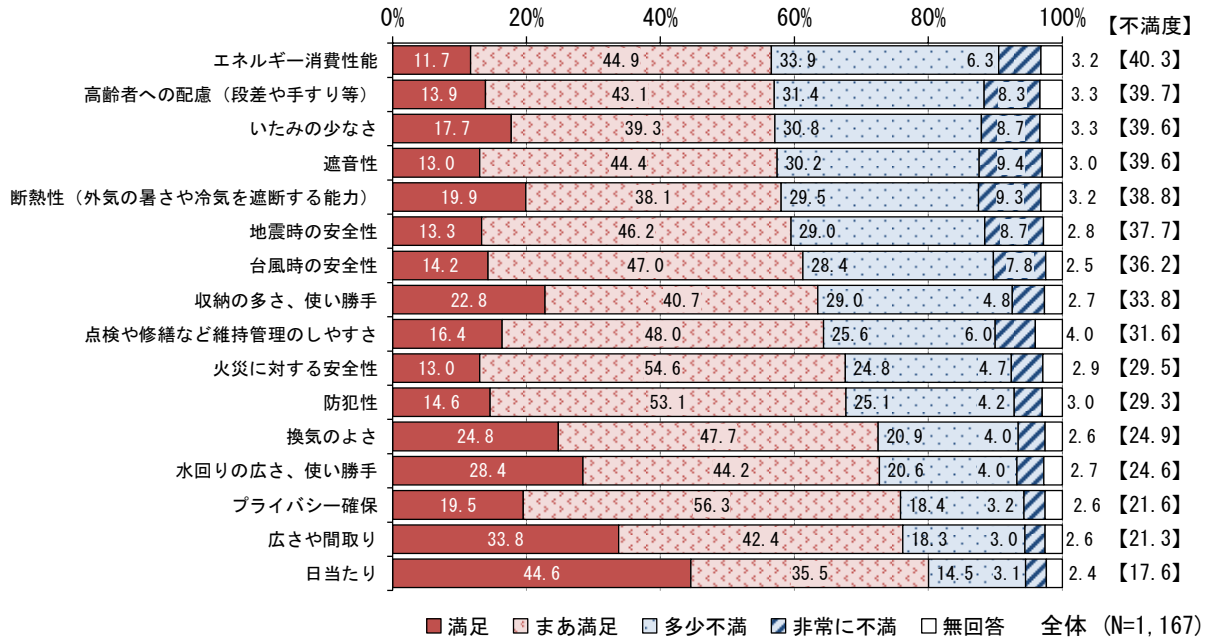


4. 現在の住まい・住環境の評価について

問 18 現在お住まいの住宅、住環境に対する満足度について、あてはまる記号に○をしてください。(項目ごとに1つずつ○)

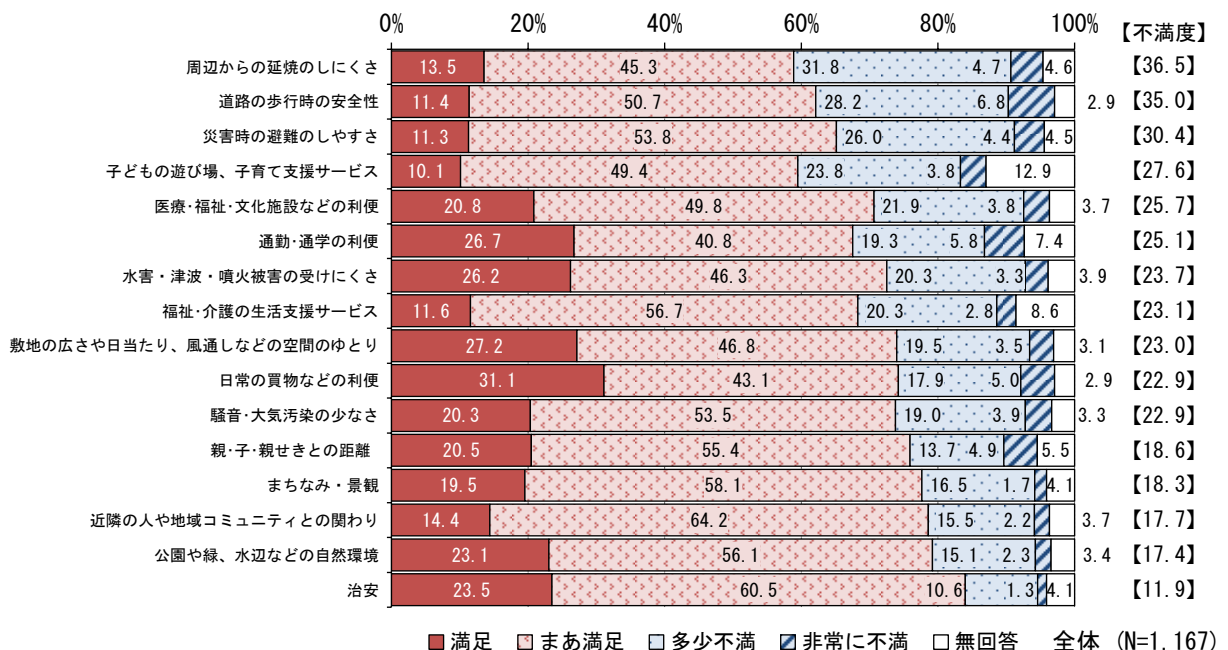
- ・現在の住宅について「非常に不満」と「多少不満」を合計した不満度をみると、「エネルギー消費性能」(40.3%)、「高齢者への配慮」(39.7%)、「いたみの少なさ」(39.6%)、「遮音性」(39.6%)の順に不満度が高い。

■住宅の評価



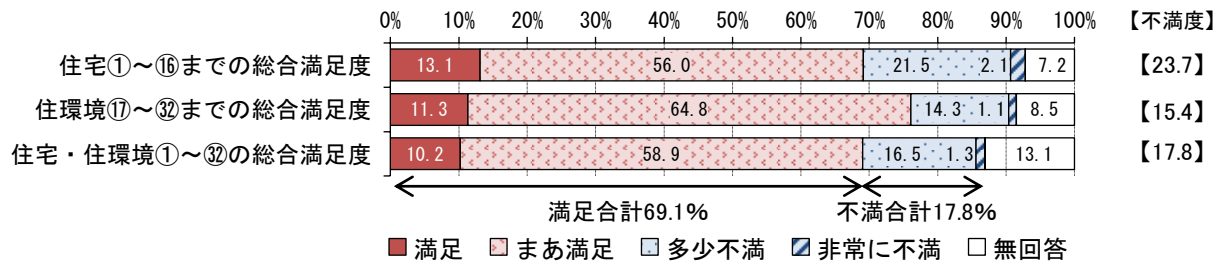
- ・現在の住環境について不満度をみると、「周辺からの延焼にしにくさ」(36.5%)、「道路の歩行時の安全性」(35.0%)、「災害時の避難のしやすさ」(30.4%)の順に不満度が高い。

■住環境の評価



- ・住宅に対する総合満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」の合計は69.1%、不満度は23.7%となっている。
- ・住環境に対する総合満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」の合計は76.1%、不満度は15.4%となっている。
- ・住宅及び住環境に対する総合満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」の合計は69.1%、不満度は17.8%となっている。

■総合評価

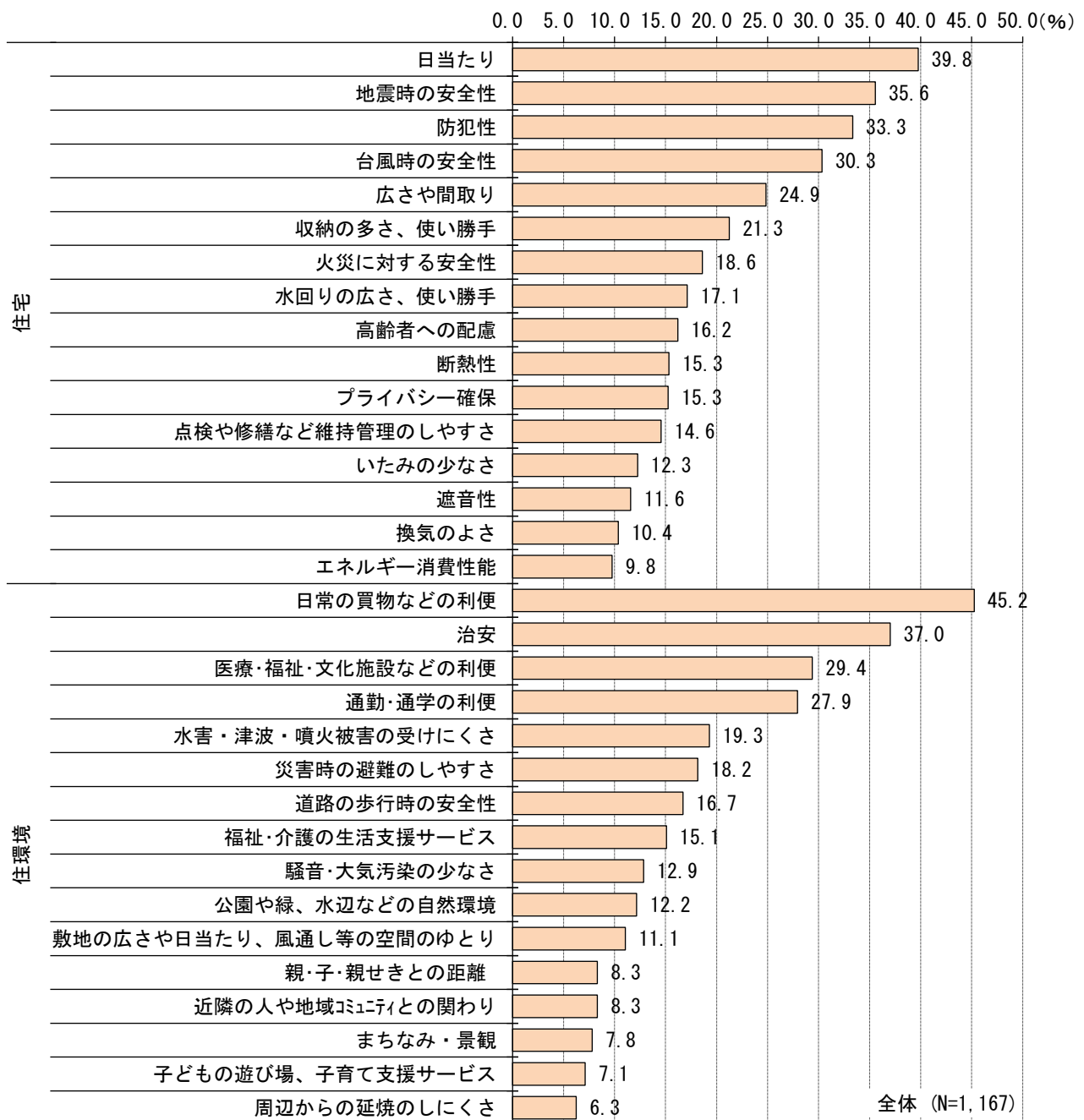


問 19

上の①～⑳の項目のうち、あなたが重要と思うものを選び、回答欄に記号を記入して下さい（8つまで）

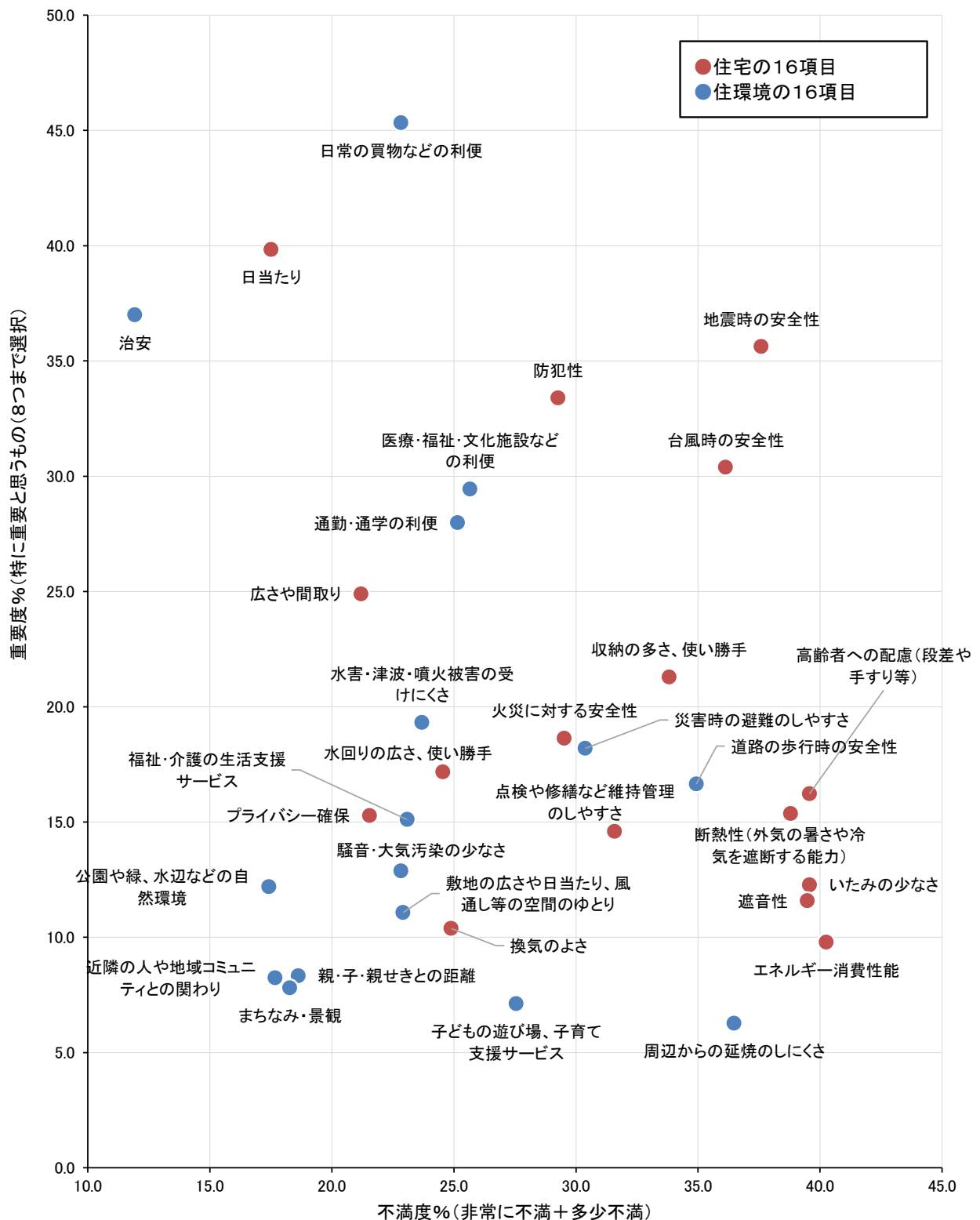
- ・住宅の評価項目のうち重要と思うものについてみると、最も割合が高いのは「日当たり」で39.8%、次いで「地震時の安全性」(35.6%)、「防犯性」(33.3%)、「台風時の安全性」(30.3%)となっている。
- ・住環境の評価項目のうち重要と思うものについてみると、最も割合が高いのは「日常の買物などの利便」で45.2%、次いで「治安」(37.0%)、「医療・福祉・文化施設などの利便」(29.4%)、「通勤・通学の利便」(27.9%)となっている。

■重要だと思う項目



- ・住宅及び住環境の評価項目について「不満度」と「重要度」をみると、不満度が高く重要度が高いのは「地震時の安全性」や「台風時の安全性」など災害時の安全性が挙げられている。また、不満度は低いものの重要度が高いのは「日常の買物などの利便」や「日当たり」、「治安」などが挙げられている。

■問18住宅・住環境の満足度 × 問19重要だと思う項目

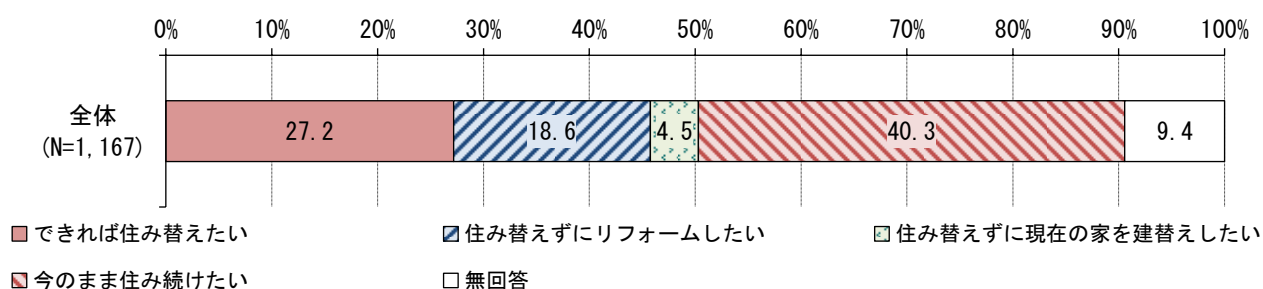


5. 今後の住まいに関する意向について

問 20 あなたは、今後 10 年で、住まいに関してどのような希望がありますか。

- ・今後 10 年の住まいに対する希望についてみると、最も割合が高いのは「今のまま住み続けたい」で 40.3%、次いで「できれば住み替えたい」(27.2%)、「住み替えずにリフォームしたい」(18.6%) となっている。

■今後 10 年の住まいに関する希望

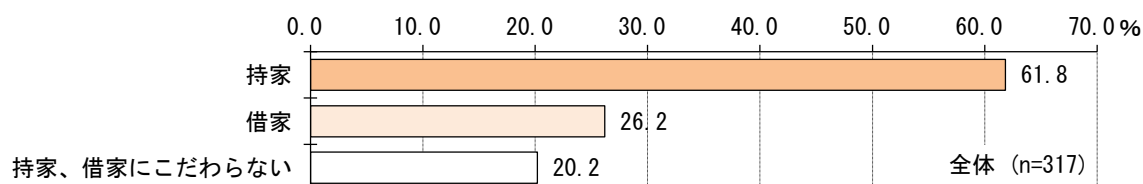


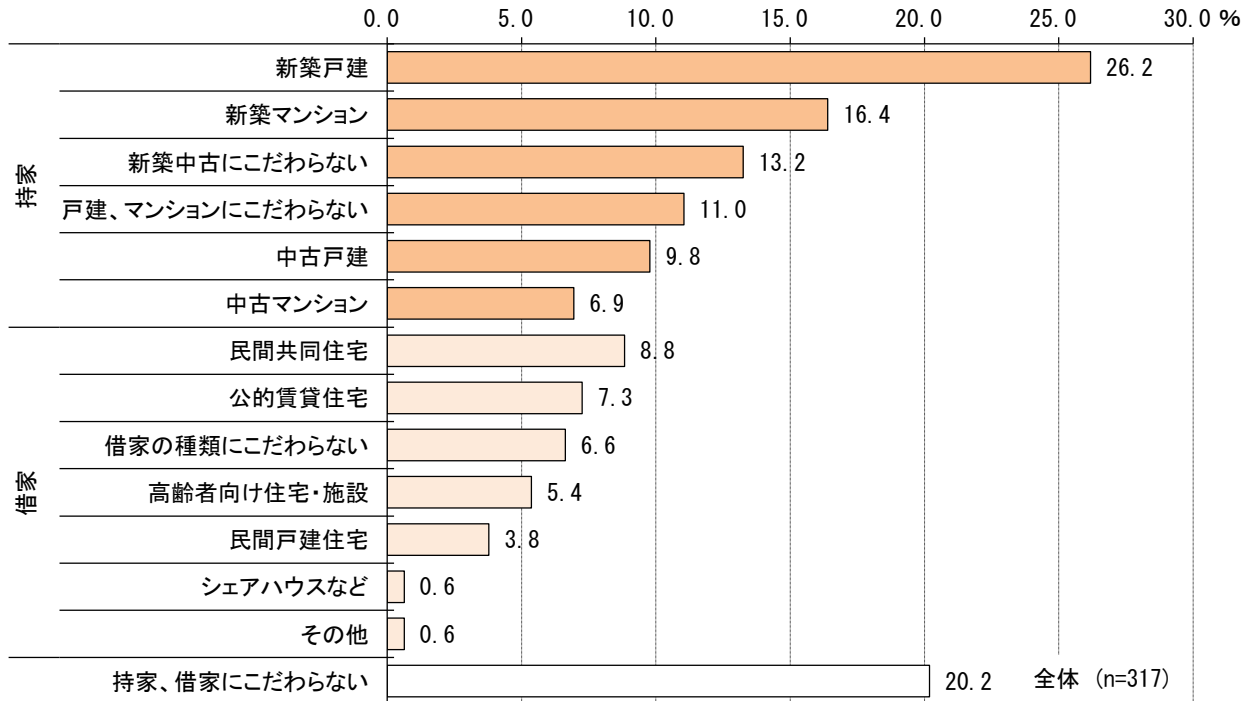
※問 20 で「1. できれば住み替えたい」と答えた回答者のみ

問 21-1 住み替えるとしたら、どのような住宅が良いですか。(複数回答可)

- ・「できれば住み替えたい」と回答した人の住み替え先の住宅の希望をみると、「持家」が 61.8%、「借家」が 26.2% となっている。
- ・「持家」を希望する人についてみると、「新築戸建」(26.2%)、「新築マンション」(16.4%)、「新築中古にこだわらない」(13.2%) の順に多い。
- ・「借家」を希望する人についてみると、「民間共同住宅」(8.8%)、「公的賃貸住宅」(7.3%) となっている。

■住み替えるとしたらどのような住宅が良いか (複数回答可)



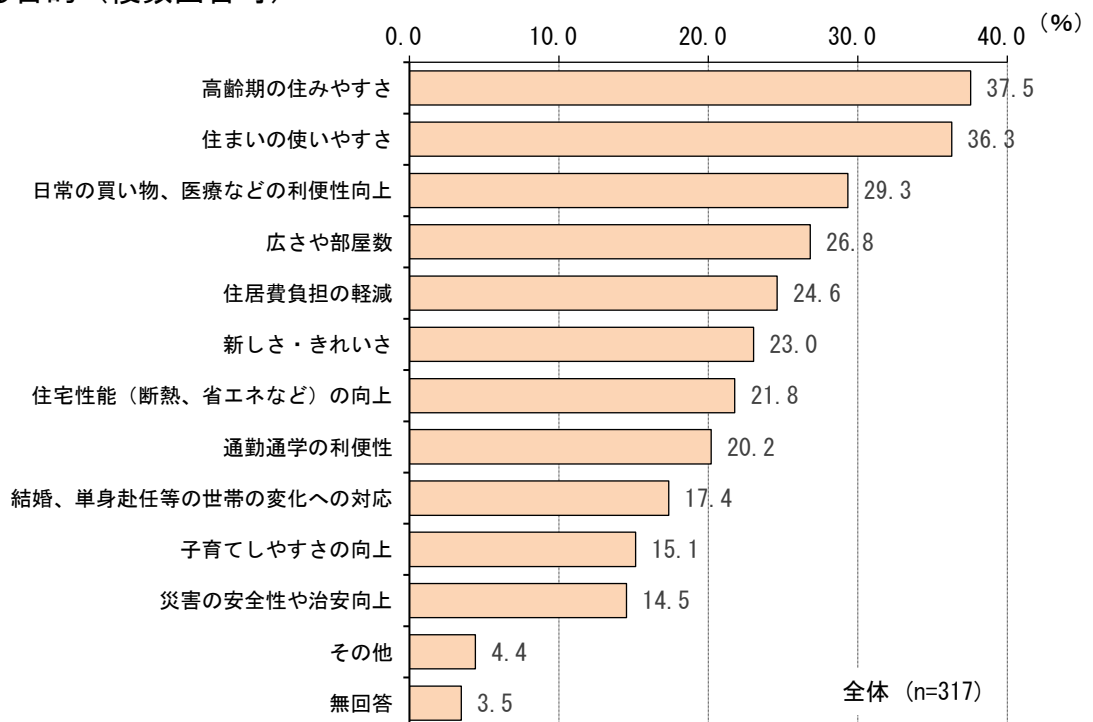


※問20で「1. できれば住み替えたい」と答えた回答者のみ

問 21-2 住み替えの目的は何ですか。(複数回答可)

・「できれば住み替えたい」と回答した人の住み替えの目的をみると、「高齢期の住みやすさ」(37.5%)、「住まいの使いやすさ」(36.3%)、「日常の買い物、医療などの利便性向上」(29.3%)、「広さや部屋数」(26.8%)の順に多い。

■住み替える目的 (複数回答可)

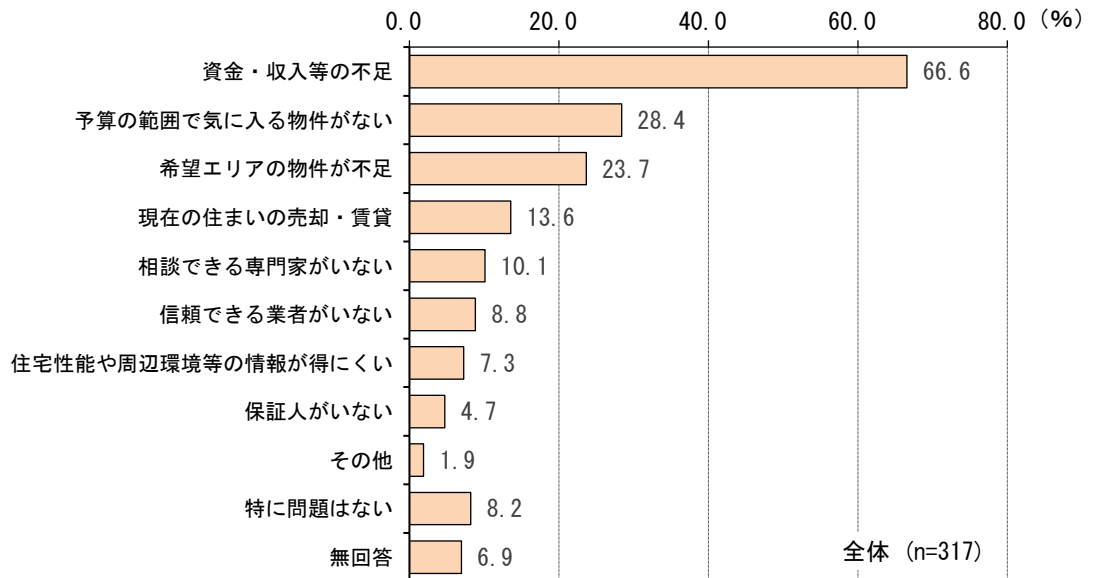


※問20で「1. できれば住み替えたい」と答えた回答者のみ

問 21-3 住み替えの課題は何ですか。(複数回答可)

・「できれば住み替えたい」と回答した人の住み替えの課題をみると、「資金・収入等の不足」(66.6%)、「予算の範囲内で気に入る物件がない」(28.4%)、「希望エリアの物件が不足」(23.7%)の順に多い。

■住み替えの課題 (複数回答可)

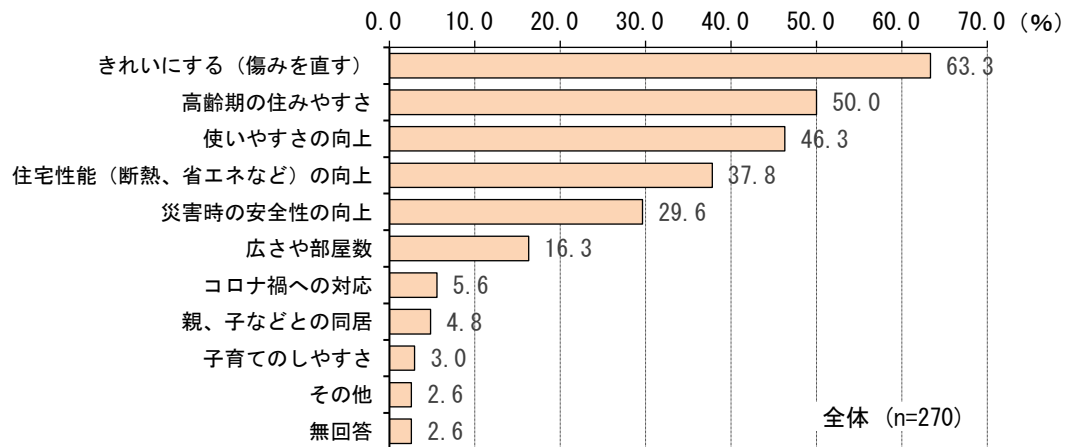


※問20で「2. リフォームしたい」「3. 建替えしたい」と答えた回答者のみ

問 22-1 リフォーム・建替えの目的は何ですか。（複数回答可）

・「リフォームしたい」または「建替えたい」と回答した人のリフォーム・建替えの目的をみると、「きれいにする」(63.3%)、「高齢期の住みやすさ」(50.0%)、「使いやすさの向上」(46.3%)の順に多い。

■リフォーム・建替えの目的（複数回答可）

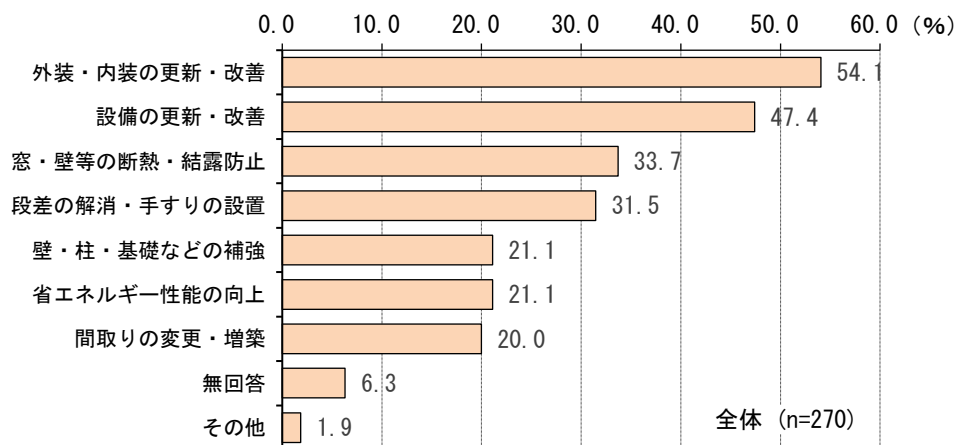


※問20で「2. リフォームしたい」「3. 建替えしたい」と答えた回答者のみ

問 22-2 どのようなリフォーム・建替えを予定していますか。（複数回答可）

・「リフォームしたい」または「建替えたい」と回答した人のリフォーム・建替えの予定をみると、「外装・内装の更新・改善」(54.1%)、「設備の更新・改善」(47.4%)、「窓・壁等の断熱・結露防止」(33.7%)の順に多い。

■リフォーム・建替えの内容（複数回答可）

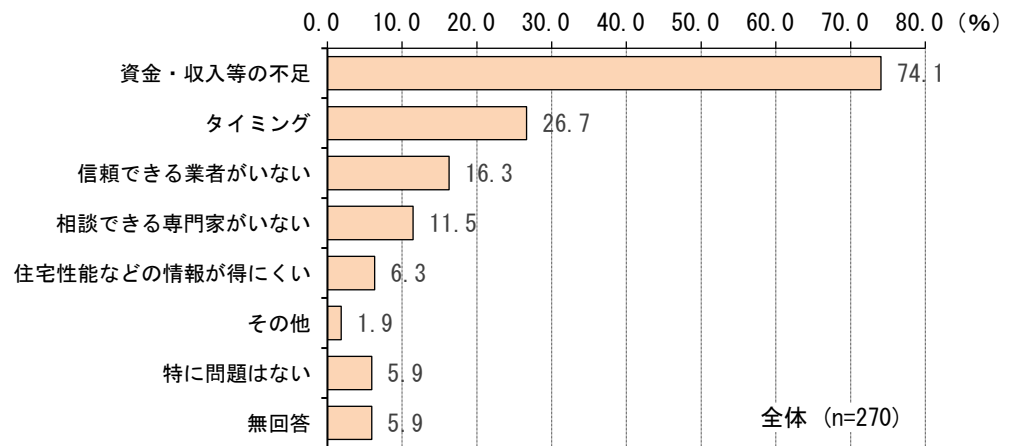


※問20で「2. リフォームしたい」「3. 建替えしたい」と答えた回答者のみ

問 22-3 リフォーム・建替えの課題は何ですか。(複数回答可)

・「リフォームしたい」または「建替えたい」と回答した人のリフォーム・建替えの課題をみると、「資金・収入等の不足」が74.1%で最も割合が高い。

■リフォーム・建替えの課題（複数回答可）

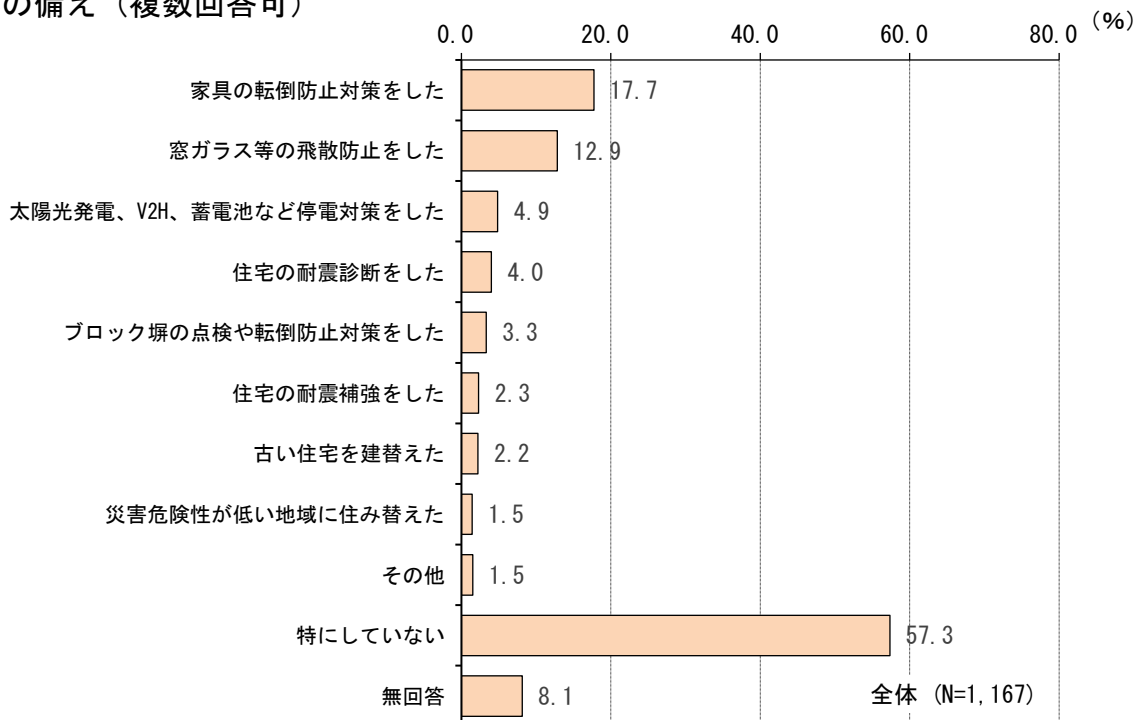


6. 住まいの災害対策について

問 23 住宅に関して実施したことがある災害への備えは何ですか。(複数回答可)

・住宅に関する災害の備えについてみると、「特にしていない」が57.3%で最も割合が高い。実施していることでは、「家具の転倒防止対策」が17.7%、「窓ガラス等の飛散防止」が12.9%となっている。

■災害への備え（複数回答可）



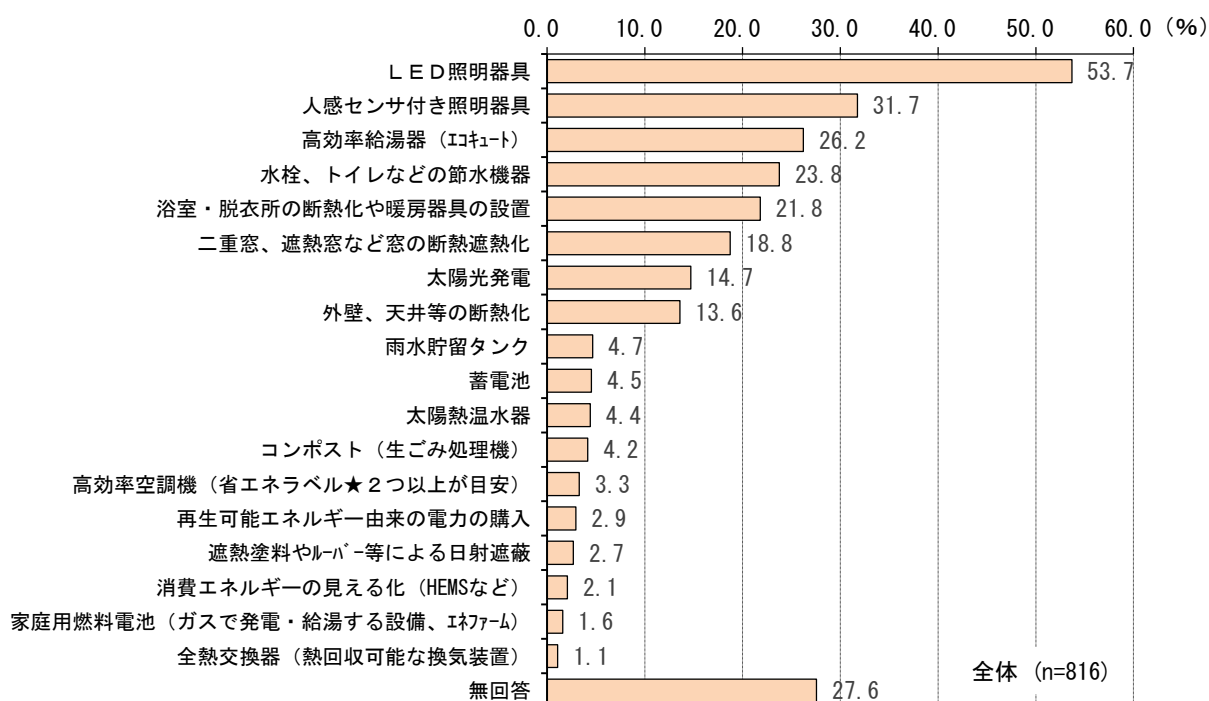
7. 住まいの省エネ・環境配慮について

問 24	あなたの住まいの省エネ対策・環境配慮について、「現在導入しているもの」、「導入したいもの」があれば、当てはまる項目の記号に○を記入して下さい。 (※どちらも該当しない場合、○は不要)
------	--

※問 8 で「持家（戸建て）」「持家（マンション）」と答えた回答者のみ集計

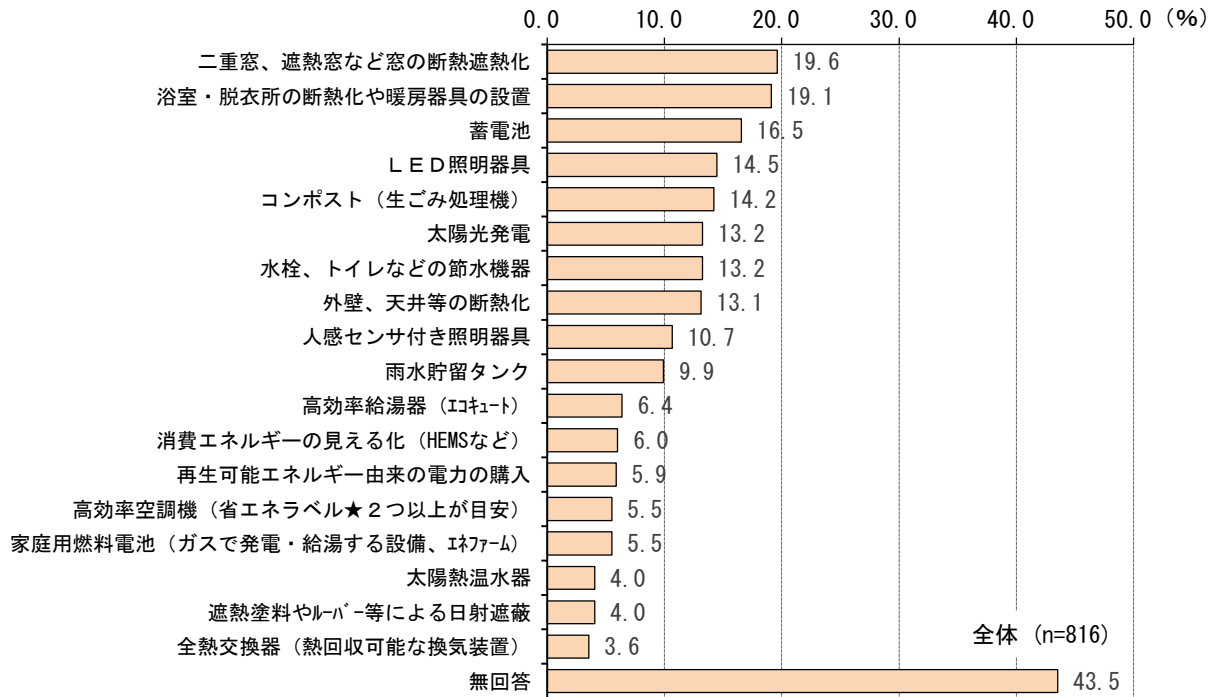
- ・持家における省エネ対策・環境配慮について「現在導入しているもの」をみると、最も割合が高いのは「LED照明器具」で 53.7%、次いで「人感センサ付き照明器具」(31.7%)、「高効率給湯器（エコキュート）」(26.2%)、「水栓、トイレなどの節水機器」(23.8%)、「浴室・脱衣所の断熱化や暖房器具の設置」(21.8%)となっている。

■省エネ対策・環境配慮（導入しているもの）（複数回答可）



・持家における省エネ対策・環境配慮について「導入したいもの」をみると、最も割合が高いのは「二重窓、遮熱窓などの断熱遮熱化」で19.6%、次いで「浴室・脱衣所の断熱化や暖房器具の設置」(19.1%)、「蓄電池」(16.5%)となっている。

■省エネ対策・環境配慮（導入したいもの）（複数回答可）



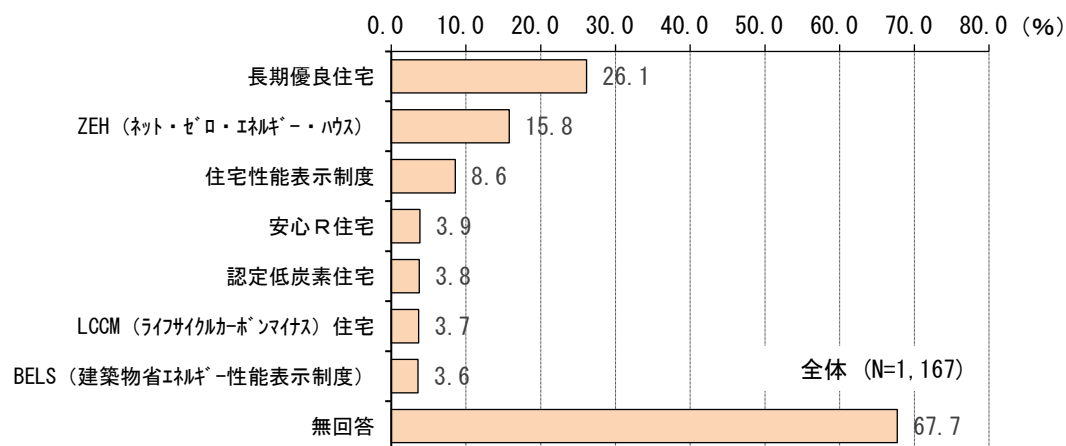
8. 住宅関連の認定制度等について

問 25

国が推進する住宅関連の認定制度等について、知っているもの、利用したいものに○をしてください。

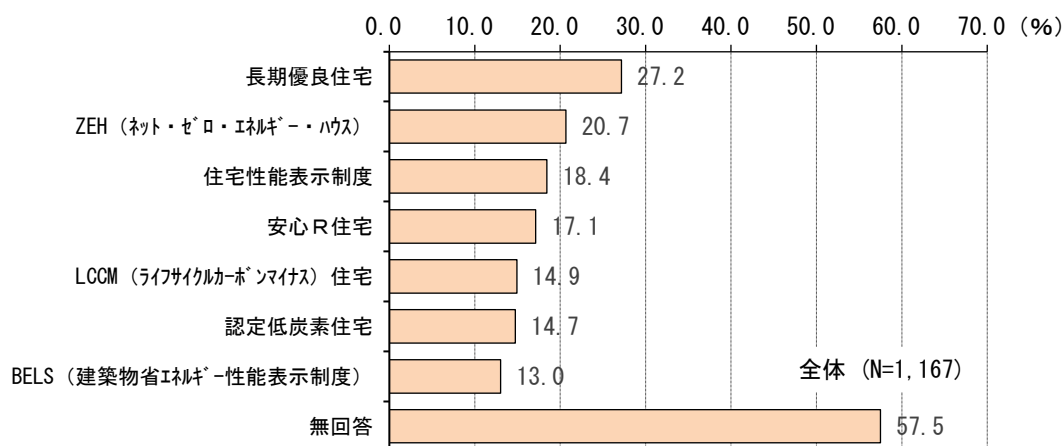
- ・住宅関連の認定制度等の認知状況をみると、「長期優良住宅」は26.1%、「ZEH」は15.8%となっている。「住宅性能表示制度」、「安心R住宅」、「認定低炭素住宅」、「LCCM住宅」、「BELS」の認知状況は1割を下回っている。

■住宅関連の認定制度等のうち、知っているもの（複数回答可）



- ・住宅関連の認定制度等の利用希望をみると、「長期優良住宅」は27.2%、「ZEH」は20.7%、「住宅性能表示制度」は18.4%、「安心R住宅」は17.1%、「LCCM住宅」は14.9%、「認定低炭素住宅」は14.7%、「BELS」は13.0%となっている。

■住宅関連の認定制度等のうち、利用したいもの（複数回答可）

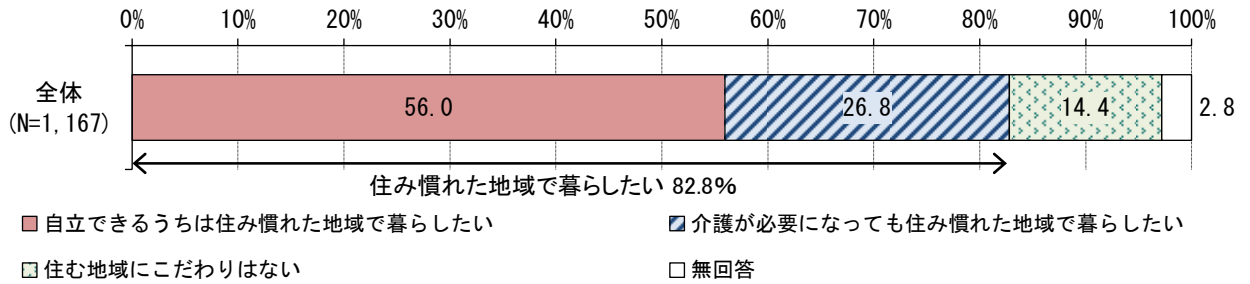


9. 高齢期の住まいについて

問26 あなたは高齢期（老後）に住み慣れた地域に住み続けたいと思いますか。

- ・ 高齢期の居住地域についてみると、「自立できるうちは住み慣れた地域で暮らしたい」と「介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしたい」を合計した「住み慣れた地域で暮らしたい」の割合は82.8%となっている。

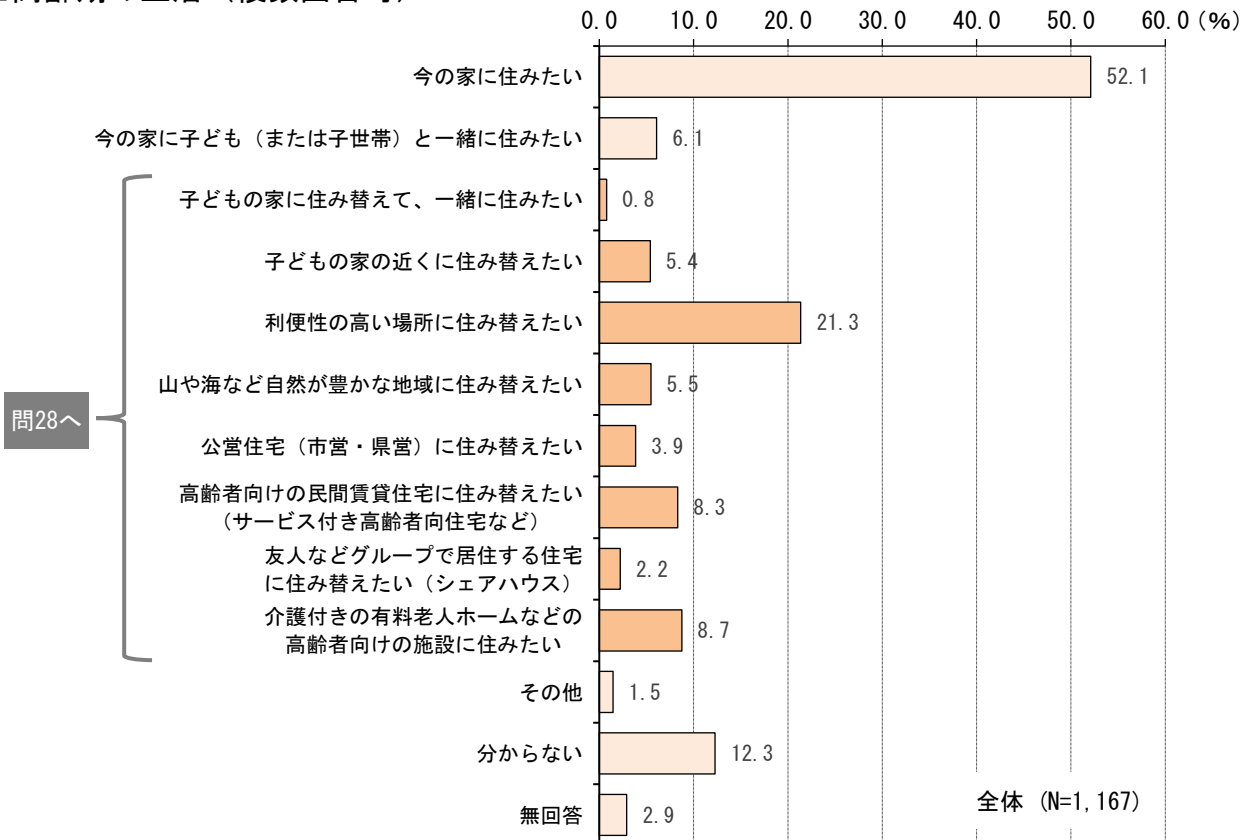
■高齢期の居住地



問27 あなたは高齢期（老後）にどのような生活をしたいと思いますか。（複数回答可）

- ・ 高齢期の希望する生活で最も割合が高いのは「今の家に住みたい」で52.1%、次いで「利便性の高い場所に住み替えたい」（21.3%）となっている。

■高齢期の生活（複数回答可）

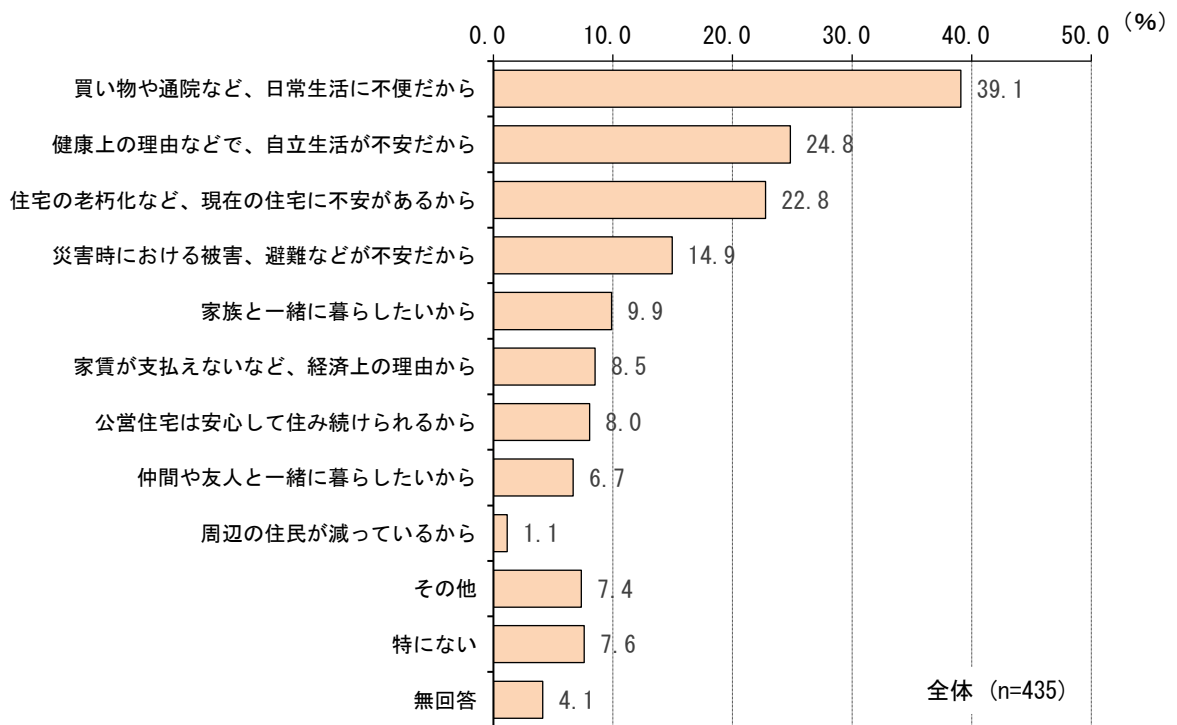


※問27で「3」～「10」のいずれか1つ以上を選んだ回答者のみ

問 28 住み替えたいと考える主な理由は何ですか。(複数回答可)

・「高齢期に住み替えたい」と回答した人の主な理由をみると、最も割合が高いのは「買い物や通院など、日常生活に不便だから」で 39.1%、次いで「健康上の理由などで、自立した生活が不安だから」(24.8%)、「住宅の老朽化など、現在の住宅に不安があるから」(22.8%) となっている。

■高齢期に住み替えたい理由 (複数回答可)

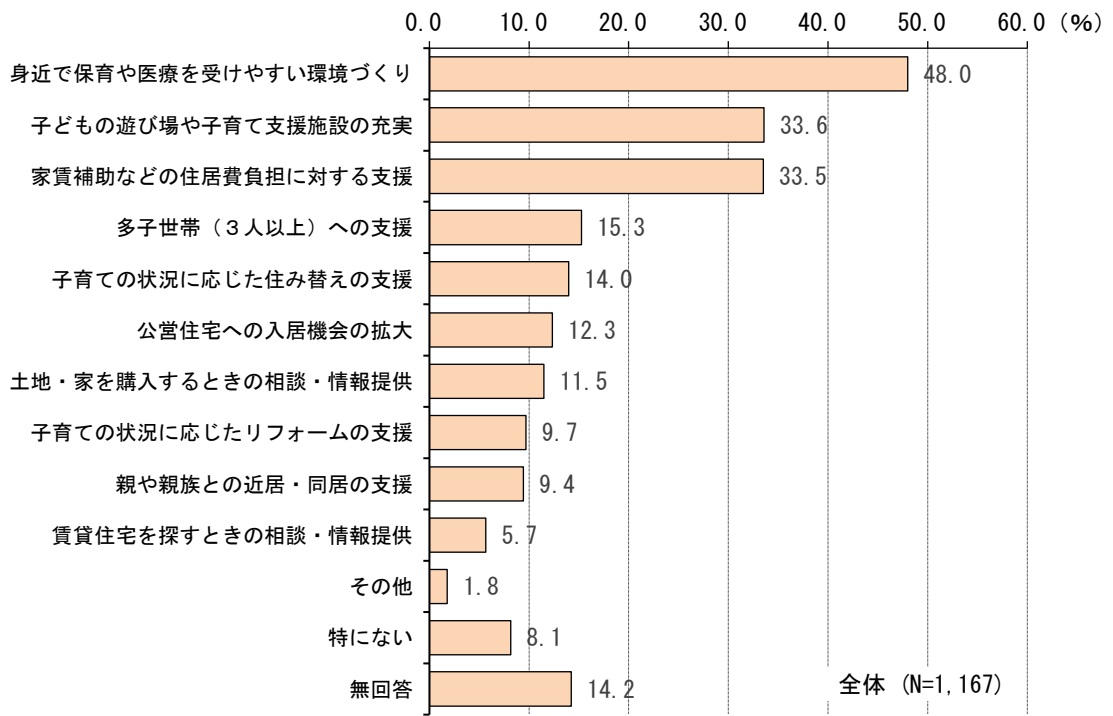


10. 子育て支援について

問 29 子育て世帯が本市に住み続けたいと思うためには、どのような支援が必要だと思いますか。（3つまでに○）

・子育て世帯に必要と思う支援についてみると、最も割合が高いのは「身近で保育や医療を受けやすい環境づくり」で 48.0%、次いで「子どもの遊び場や子育て支援施設の充実」（33.6%）、「家賃補助などの住居費負担に対する支援」（33.5%）となっている。

■子育て世帯に必要だと思う支援

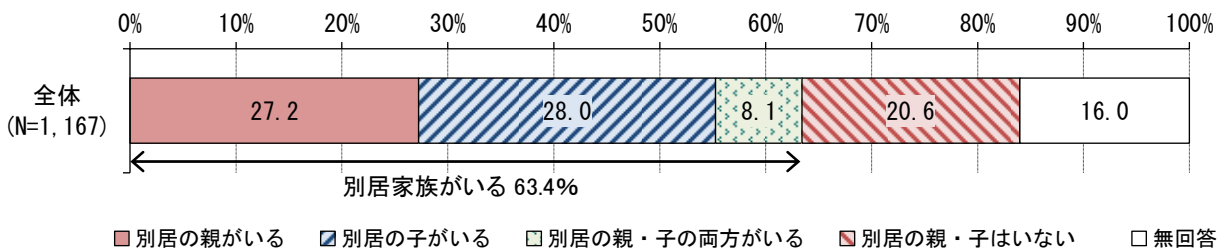


11. 親・子との同居・近居について

問 30 あなたは現在、別居している家族がいますか。

・別居している家族の有無についてみると、「別居家族がいる」の割合は 63.4%となっている。

■別居している家族

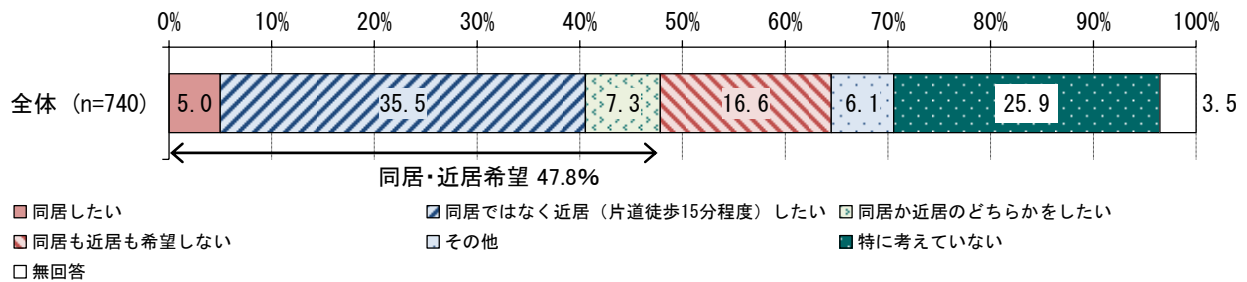


※問 30 で「1. 別居の親がいる」、「2. 別居の子がいる」、「3. 別居の親・子の両方がいる」選んだ回答者のみ

問 31-1 親または子と、同居または近居したいと思いますか。

・「別居家族がいる」と回答した人の同居または近居の意向をみると、「同居・近居希望」は 47.8%と、約 5 割が同居・近居を希望している。

■同居や近居の希望

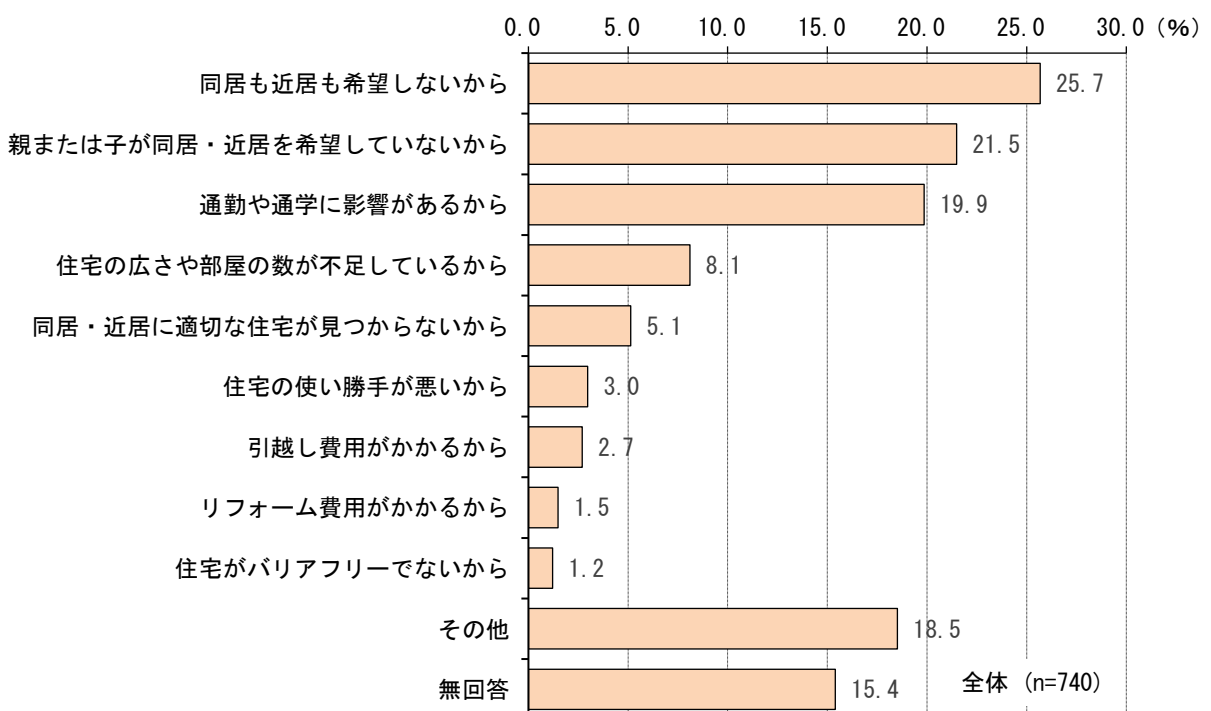


※問 30 で「1. 別居の親がいる」、「2. 別居の子がいる」、「3. 別居の親・子の両方がいる」選んだ回答者のみ

問 31-2 同居または近居に至っていない理由は何ですか。(複数回答可)

・「別居家族がいる」と回答した人の同居や近居に至っていない理由をみると、「同居も近居も希望していないから」(25.7%)、「親または子が同居・近居を希望していないから」(21.5%)、「通勤や通学に影響があるから」(19.9%) の順に多い。

■同居や近居に至っていない理由 (複数回答可)



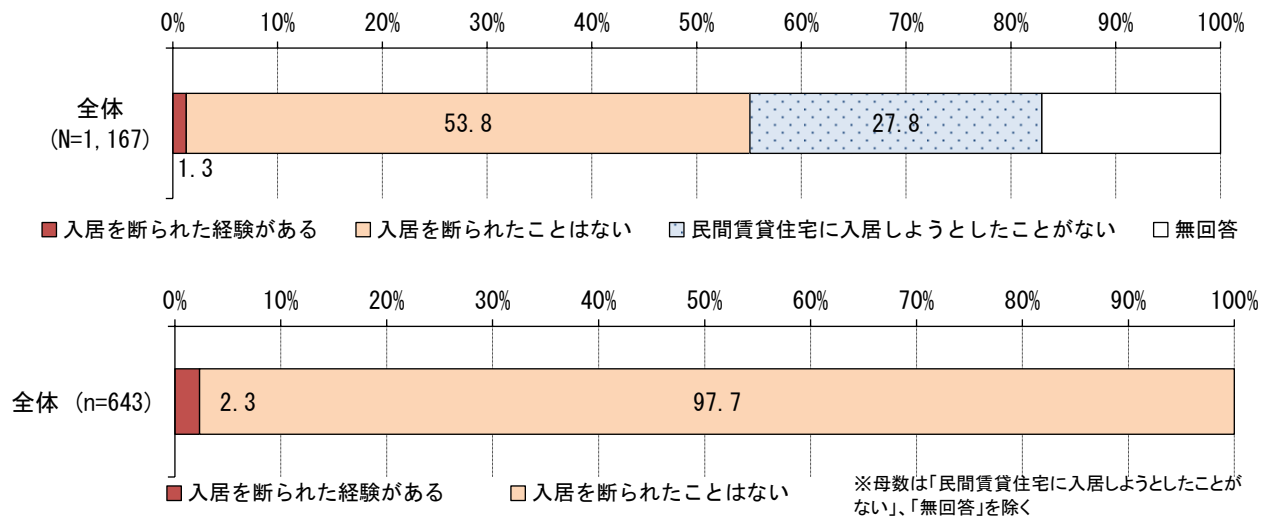
12. 民間賃貸住宅への入居について

問 32 あなたは民間賃貸住宅の入居の際に、入居を断られたことがありますか。

・民間賃貸住宅の入居の際に断られた経験の有無についてみると、「入居を断られた経験がある」が2.3%、「入居を断られたことはない」が97.7%となっている。

※母数は「民間賃貸住宅に入居しようとしたことがない」及び「無回答」を除く。

■民間賃貸住宅入居の際に断られた経験

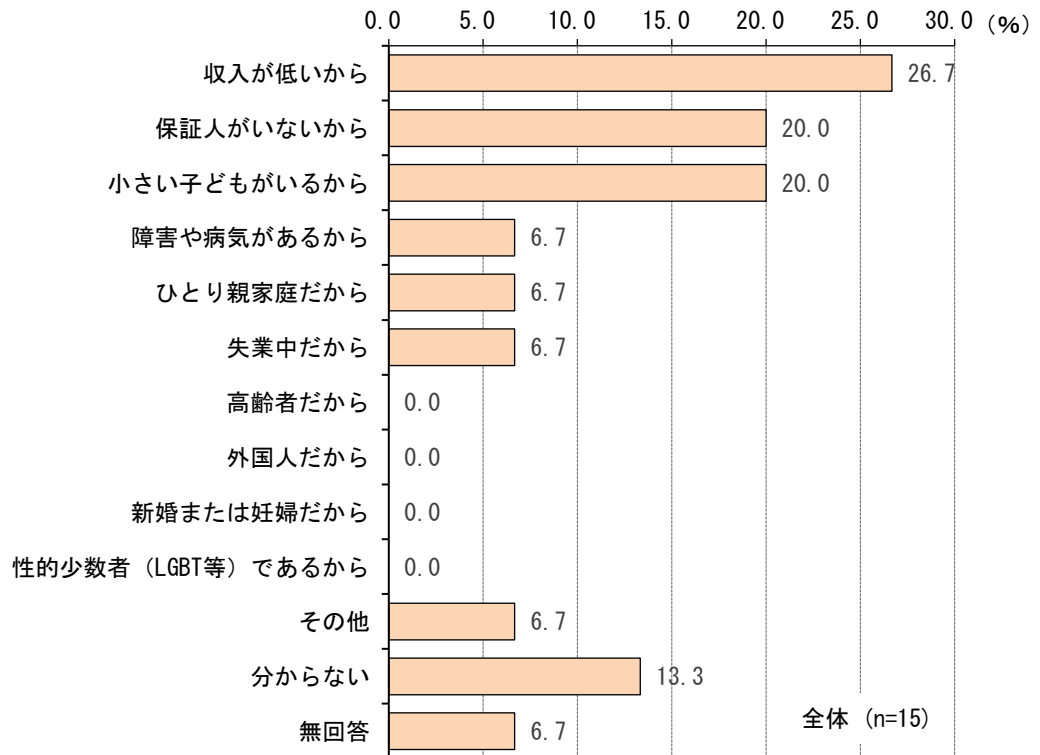


※問 32 で「1. 入居を断られた経験がある」を選んだ回答者のみ

問 33-1 入居を断られたのは何が理由だと思いますか。(複数回答可)

・「入居を断られた経験がある」と回答した人の入居拒否の理由をみると、最も割合が高いのは「収入が低いから」で 26.7%、次いで「保証人がいないから」(20.0%)、「小さい子どもがいるから」(20.0%) となっている。

■入居拒否の理由 (複数回答可)

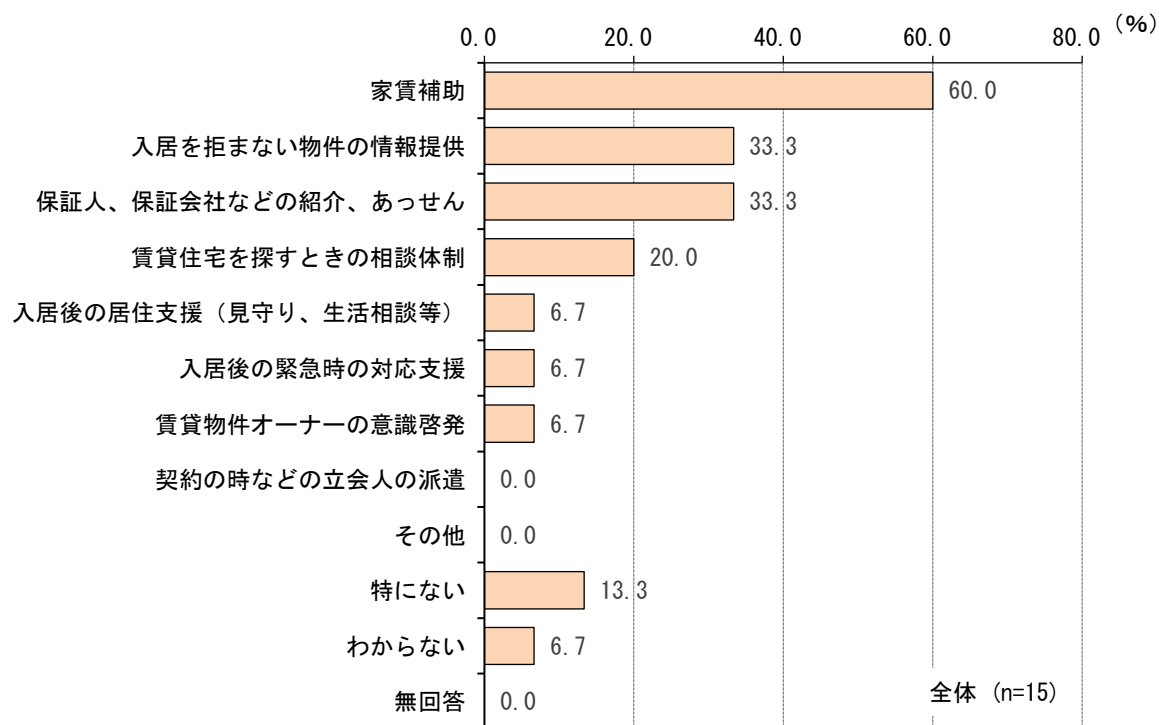


※問 32 で「1. 入居を断られた経験がある」を選んだ回答者のみ

問 33-2	希望する民間賃貸住宅へ入居するために、必要な支援は何ですか。 (複数回答可)
--------	---

・希望する民間賃貸住宅に入居するために必要な支援についてみると、最も割合が高いのは「家賃補助」で 60.0%、次いで「入居を拒まない物件の情報提供」(33.3%)、「保証人、保証会社などの紹介、あっせん」(33.3%) となっている。

■希望する民間賃貸住宅に入居するために必要な支援（複数回答可）



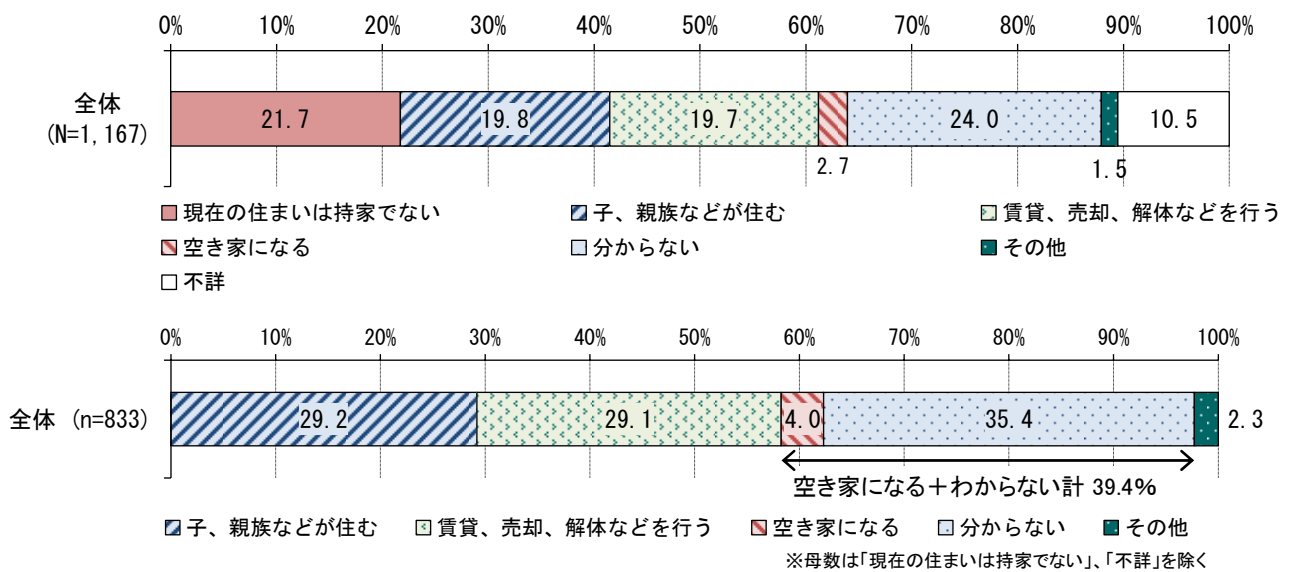
13. 現在、所有している住まいの処分・活用について

問 34 現在の住まいを必要としなくなった場合、住宅はどのような予定ですか。

- ・現在の住まいを必要としなくなった場合の住宅の予定についてみると、「子、親族などが住む」が29.2%、「賃貸、売却、解体などを行う」が29.1%で、合計で58.3%の住宅は何らかの予定が立っている。
- ・一方、「空き家になる」と「わからない」の合計は39.4%で、約4割の住宅は空き家になる可能性が高い。

※母数は「現在の住まいは持家でない」及び「不詳」を除く。

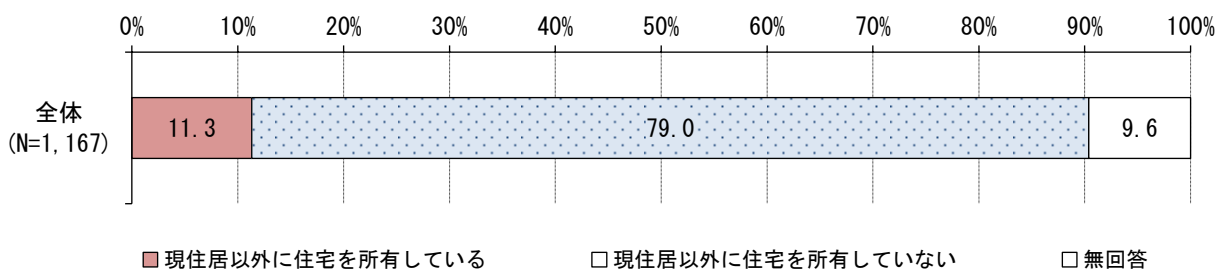
■不要となった住宅の予定



問 35 現在お住まいの住宅以外に所有する住宅がありますか。

- ・現在の住宅以外に所有する住宅の有無についてみると、「現住居以外に住宅を所有している」が11.3%となっている。

■現住居以外の住宅

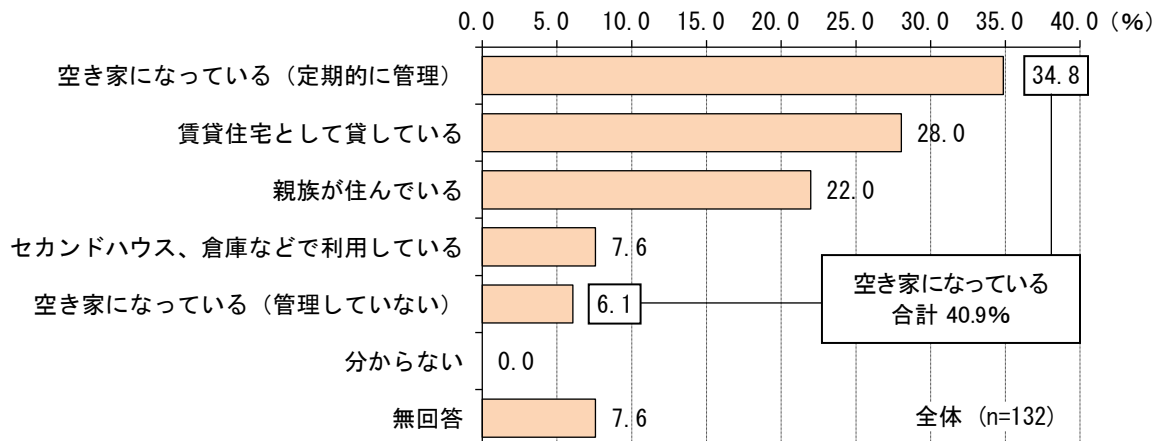


※問 35 で「1. 住宅を所有している」を選んだ回答者のみ

問 36-1	現在居住する住宅以外に所有する住宅をどのように利用していますか。 (複数回答可)
--------	---

・「現住居以外に住宅を所有している」と回答した人の当該住宅の利用状況についてみると、「空き家になっている」が 40.9%、「賃貸住宅として貸している」が 28.0%となっている。

■現住居以外の住宅（複数回答可）

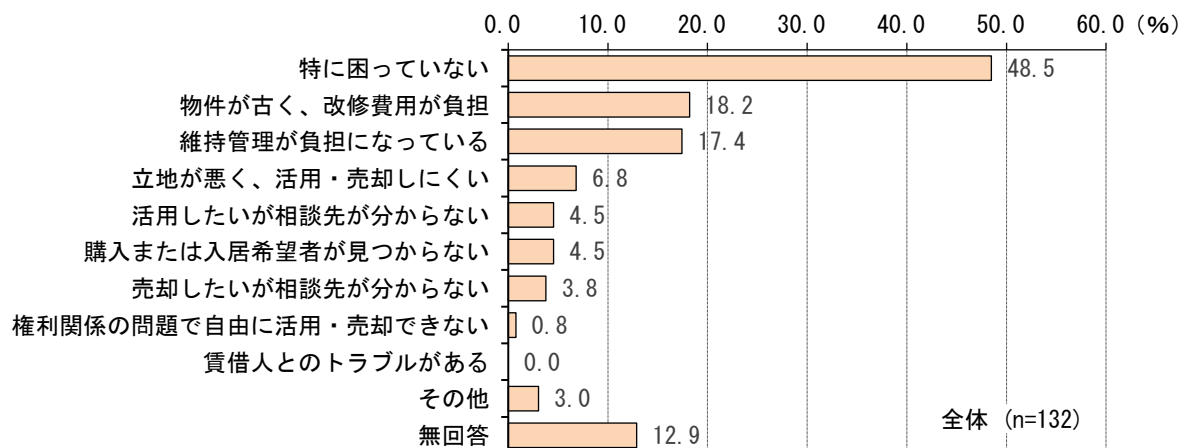


※問 35 で「1. 住宅を所有している」を選んだ回答者のみ

問 36-2	現在居住する住宅以外に所有する住宅について、困っていることがありますか。(複数回答可)
--------	---

・「現住居以外に住宅を所有している」と回答した人の当該住宅に関して困っていることをみると、「特に困っていない」が 48.5%、「物件が古く、改修費用が負担」が 18.2%、「維持管理費が負担になっている」が 17.4%となっている。

■現住居以外の住宅の問題（複数回答可）

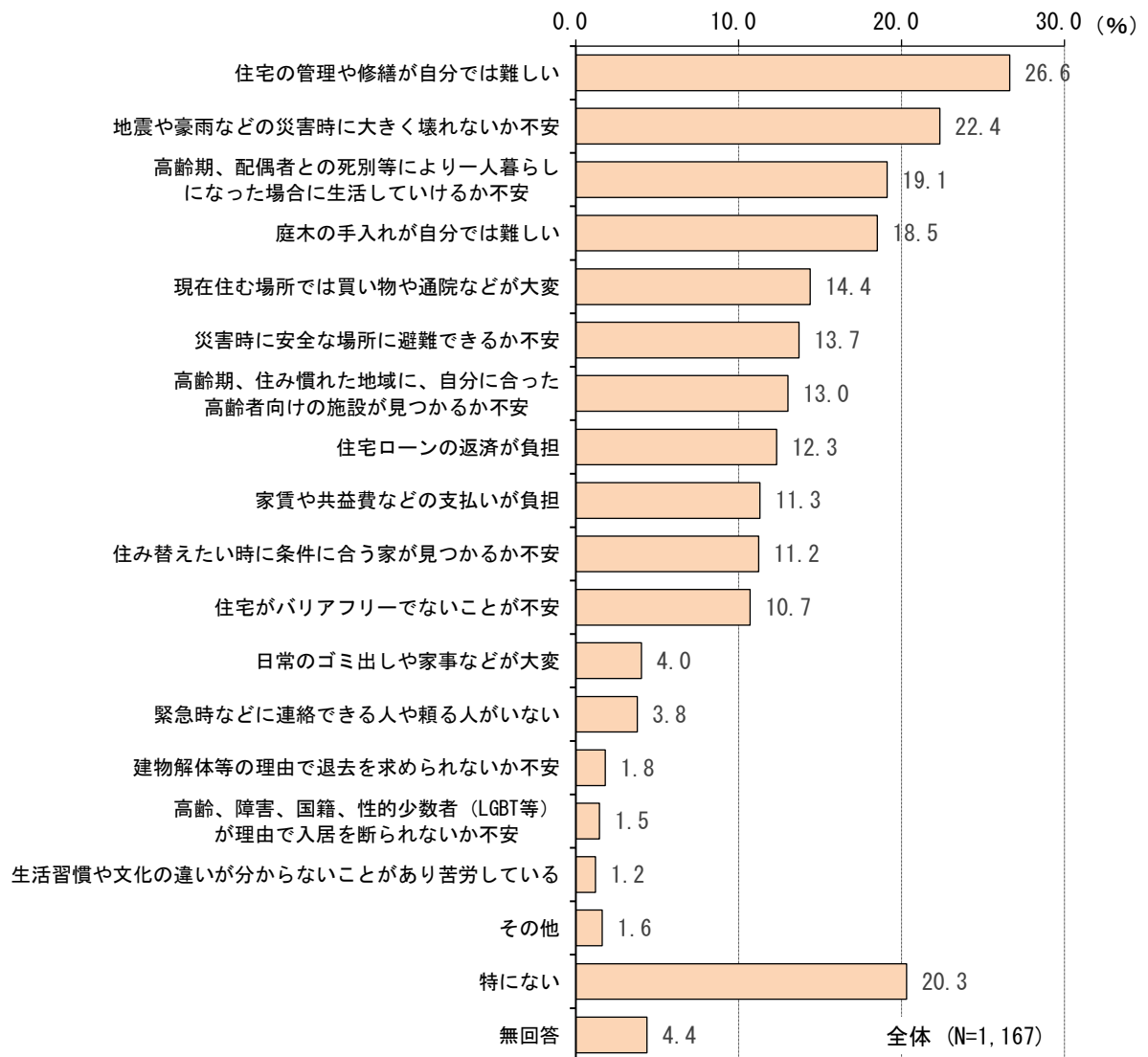


14. 住まいに関して困っていること

問37 住まいに関して困っていること（または将来の不安）を教えてください。
（複数回答可）

- ・住まいに関して困っていること（または将来の不安）についてみると、「住宅の管理や修繕が自分では難しい」（26.6%）、「地震や豪雨などの災害時に大きく壊れないか不安」（22.4%）、「高齢期、配偶者との死別等により一人暮らしになった場合に生活しているか不安」（19.1%）、「庭木の手入れが自分では難しい」（18.5%）の順に多い。

■困っていること（複数回答可）

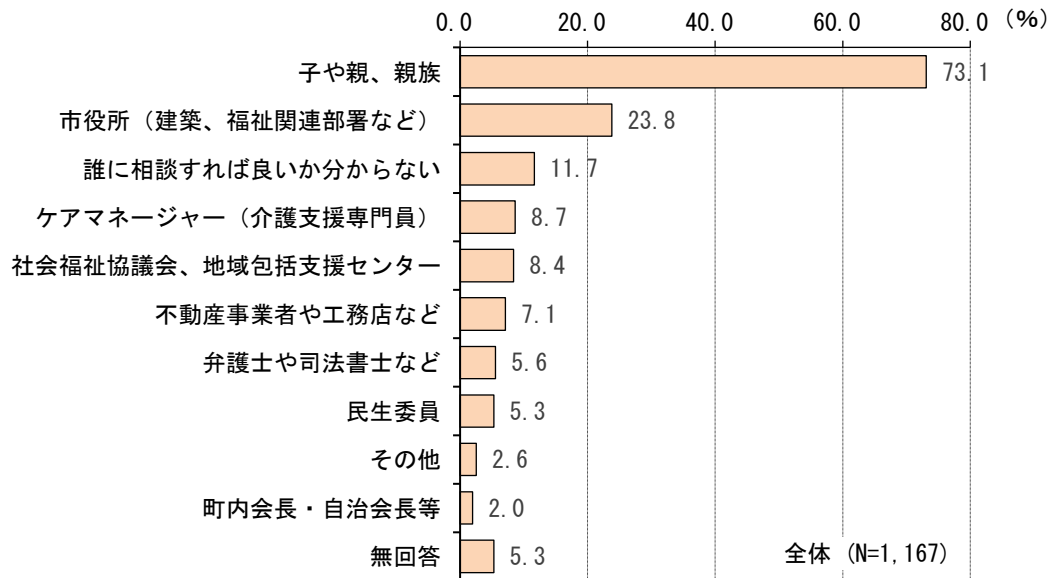


問 38

困っていること（または将来の不安）は誰に相談したいと思いますか。
（複数回答可）

・住まいに関して困っていること（または将来の不安）に関する相談先についてみると、最も多いのは「子や親、親族」で73.1%、次いで「市役所」（23.8%）となっている。一方、「誰に相談すれば良いか分からない」が約1割みられる。

■相談相手（複数回答可）

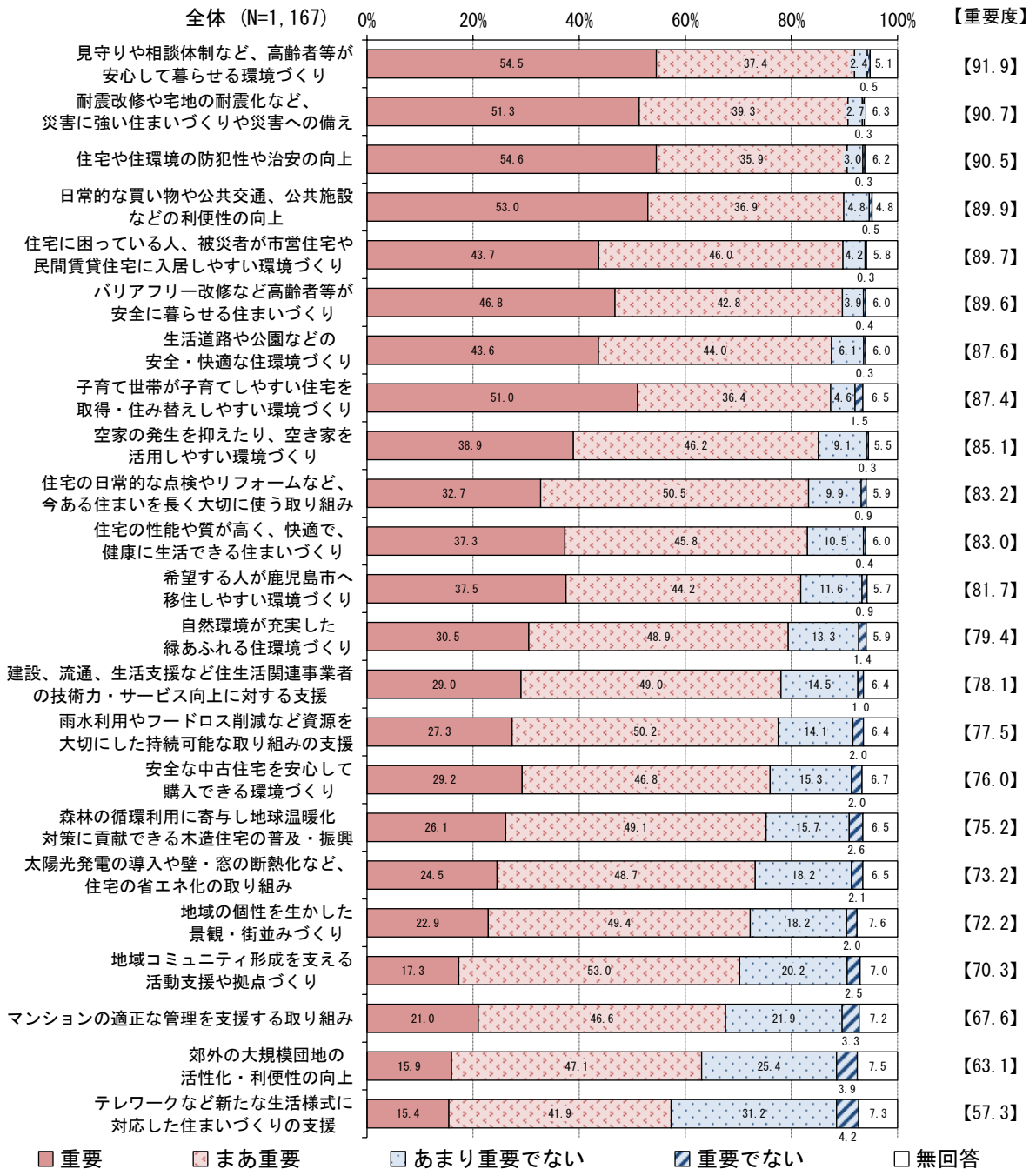


15. 住生活に関する鹿児島市の取り組みについて

問 39 鹿児島市の住まいやまちづくりに関して、取り組みの重要性をどのように考えますか。項目毎に最も近い記号1つに○をしてください。

・住まいやまちづくりの取り組みの重要性についてみると、重要度（重要+まあ重要）は「見守りや相談体制など、高齢者等が安心して暮らせる環境づくり」（91.9%）、「耐震改修や宅地の耐震化など、災害に強い住まいづくりや災害への備え」（90.7%）、「住宅や住環境の防犯性や治安の向上」（90.5%）の順に高い。

■取り組みの重要性

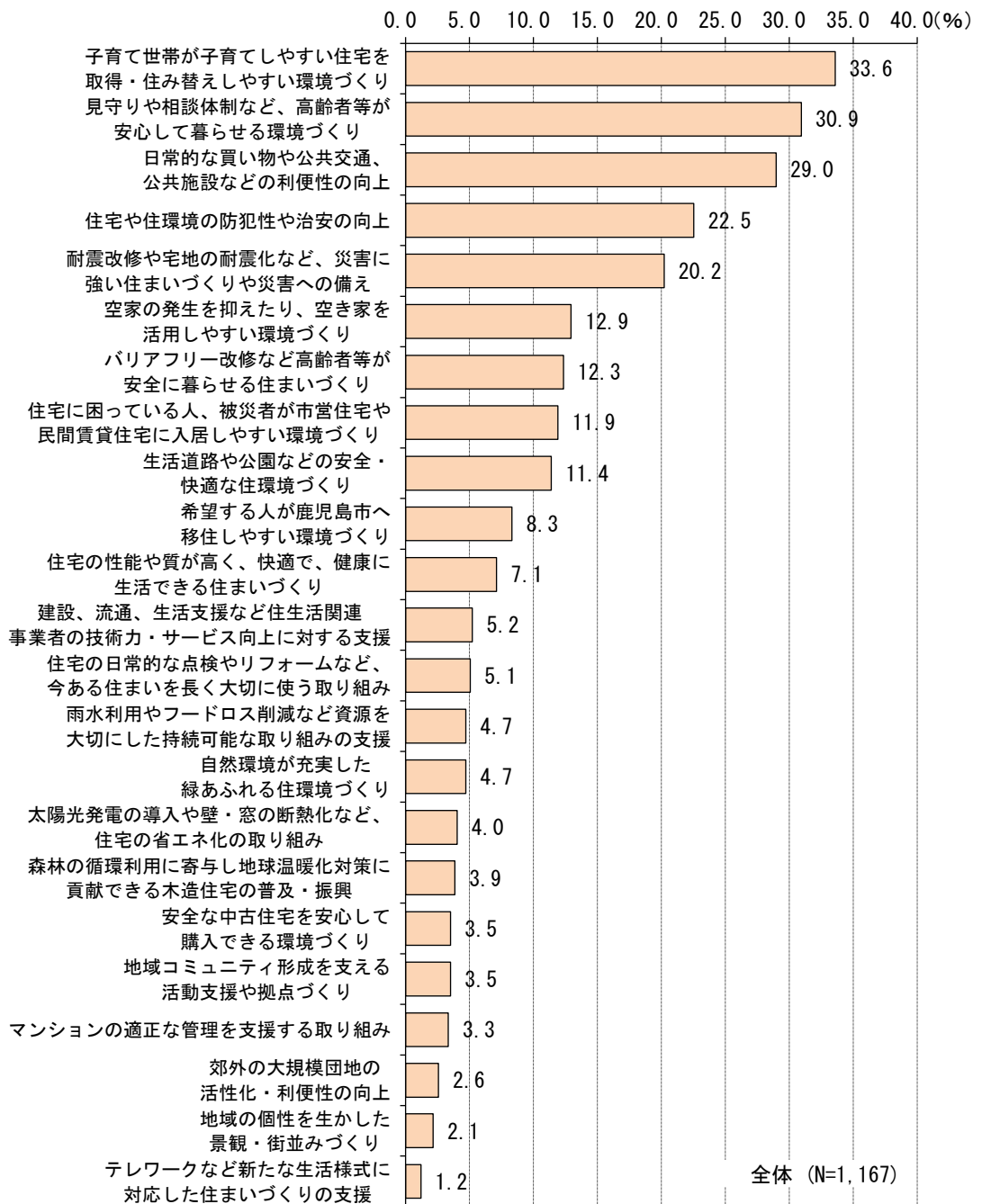


問 40

上記の①～⑬の項目のうち、特に重要と思うものを選んで、回答欄に記号を記入して下さい（3つまで）

- ・住まいやまちづくりの取り組みに関して特に重要と思うものについてみると、「子育て世帯が子育てしやすい住宅を取得・住み替えしやすい環境づくり」(33.6%)、「見守りや相談体制など、高齢者等が安心して暮らせる環境づくり」(30.9%)、「日常的な買い物や公共交通、公共施設などの利便性の向上」(29.0%)の順に割合が高い。

■特に重要と思うもの（複数回答可）



16. その他、鹿児島市における住生活についての意見

・216名から自由意見の回答があり、問40の鹿児島市の取り組みで分類した意見の件数、分類別の主な意見は、以下の通り。

■自由意見の件数

問40の分類	件数
①子育て世帯が子育てしやすい住宅を取得・住み替えしやすい環境づくり	27件
②見守りや相談体制など、高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	4件
③住宅に困っている人、被災者が市営住宅や民間賃貸住宅に入居しやすい環境づくり	1件
④希望する人が鹿児島市へ移住しやすい環境づくり	2件
⑤バリアフリー改修など高齢者等が安全に暮らせる住まいづくり	2件
⑥耐震改修や宅地の耐震化など、災害に強い住まいづくりや災害への備え	16件
⑦住宅の性能や質が高く、快適で、健康に生活できる住まいづくり	1件
⑧空家の発生を抑えたり、空き家を活用しやすい環境づくり	10件
⑨安全な中古住宅を安心して購入できる環境づくり	0件
⑩住宅の日常的な点検やリフォームなど、今ある住まいを長く大切に使う取り組み	1件
⑪マンションの適正な管理を支援する取り組み	1件
⑫太陽光発電の導入や壁・窓の断熱化など、住宅の省エネ化の取り組み	3件
⑬森林の循環利用に寄与し地球温暖化対策に貢献できる木造住宅の普及・振興	0件
⑭テレワークなど新たな生活様式に対応した住まいづくりの支援	1件
⑮雨水利用やフードロス削減など資源を大切にしたい持続可能な取り組みの支援	0件
⑯地域コミュニティ形成を支える活動支援や拠点づくり	8件
⑰郊外の大規模団地の活性化・利便性の向上	1件
⑱日常的な買い物や公共交通、公共施設などの利便性の向上	34件
⑲生活道路や公園などの安全・快適な住環境づくり	49件
⑳地域の個性を生かした景観・街並みづくり	8件
㉑住宅や住環境の防犯性や治安の向上	11件
㉒自然環境が充実した緑あふれる住環境づくり	8件
㉓建設、流通、生活支援など住生活関連事業者の技術力・サービス向上に対する支援	2件

■主な意見（問 40 の分類別に要約して抜粋）

①子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場を充実してほしい。 ・子育て世帯への金銭的な支援を充実させてほしい。 ・待機児童問題に対応して保育サービスを充実してほしい。
②高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者への対応、支援が必要。
③入居しやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害があると入居を拒否される。貸す側への補助や一緒に住宅を探す支援が必要。
④移住	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人口が増える政策が必要。 ・子育て、高齢者に優しい環境整備で移住者が増えると思う。
⑤バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化したくても借家だからできない。 ・高齢化社会に備え、公共交通やバリアフリーの充実が必要。
⑥災害に強い住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・火山、台風、水害で人的被害が減らせる街づくりが必要。 ・定期的に避難場所を周知してほしい。 ・火山灰対策が必要。サンルーム設置の補助があると良い。
⑦住宅の性能	<ul style="list-style-type: none"> ・窓、浴室の断熱化で寒くない家になりたい。補助があると良い。
⑧空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えている。放置されると心配。 ・節税のために空き家が除却されない。相続手続きの煩雑さから活用も進まない。対策できないだろうか。
⑩点検やリフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に生活するには、いつか必ずリフォームしなければならないので、市の支援や助成があると良い。
⑪マンション管理	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸マンションの駐車場が足りず、不便を感じる。
⑫省エネ化	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光などの省エネ関連設備は台風などで損傷するため、維持費の補助があると良い。 ・EV充電ステーションの設置を進めて欲しい。
⑭新たな生活様式	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの普及で居住地を変える人が増えると思う。帰省費用の支援等があると良い。
⑯地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の未加入者がいて、ゴミ出しのトラブルが特に多い。 ・高齢化で地域の人材が不足し、自治能力が低下している。
⑰団地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交代がうまくいっていない団地が多い。吉野のような幅広い世帯が住みやすい環境づくりが必要。
⑱日常的な利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で生活できるよう、公共交通の充実が必要。 ・中心部だけでなく、郊外、過疎地域の活性化の検討が必要。 ・身近な地域で日用品店舗や宅配サービスが充実すると良い。
⑲生活道路や公園	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園の安全性や緑の環境の充実が必要。 ・歩道の凹凸、狭さ、見通しの悪さなど、道路の改善が必要。
⑳景観・街並み	<ul style="list-style-type: none"> ・街並み維持のため、定期除草やゴミ出しマナー向上が必要。
㉑防犯性や治安	<ul style="list-style-type: none"> ・外灯が少なく、人気がないところでは怖い。 ・雑草が生い茂った廃屋は事件・事故が不安。
㉒緑あふれる住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地造成により緑が減ったことが残念。 ・災害時に危険な樹木は伐採して欲しい。
㉓住生活関連事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・家探しに時間がかかった。新築・中古の購入、リフォームなどの情報が欲しい。優良な事業者の情報ががあると良い。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・年収と比べて家賃が高く、生活が苦しい。 ・物価高騰に対応した各種助成や税の減免を検討してほしい。 ・超高齢化社会の生き残りのため、コンパクトシティを追求すべき。

参考資料 アンケート調査票

住まい・住生活に関するアンケート調査

～ 次の①か②のいずれかの方法でご回答いただけます ～

回答方法① 「アンケート用紙」 に記入し、返信用封筒でポストに投函

- 封筒のあて名のご本人がご回答ください（ご本人が記入できない場合は、ご家族などが、ご本人のお考えを聞きながら、代わりにご記入いただいても結構です）
- 黒の鉛筆またはボールペンなどではっきりと記入してください
- アンケート用紙は、同封の返信用封筒で、令和4年11月20日（日）までに投函してください（※切手は不要です。また、住所や氏名を記入する必要はありません。）

回答方法② 「パソコン・タブレット・スマートフォン」 でオンライン回答

- 封筒のあて名のご本人がご回答ください（ご本人が入力できない場合は、ご家族などが、ご本人のお考えを聞きながら、代わりにご入力いただいても結構です）
- 令和4年11月20日（日）までにご回答ください
- オンライン回答のURL
<https://shinsei.pref.kagoshima.jp/eDAJnx9o>
※上記URLを入力するか、右のQRコードを読み取ってください
※下記の「オンライン回答用番号」を入力して回答を開始してください
※携帯電話（フィーチャーフォン）とスマートフォンの一部（Android 4.4 以前または iOS4 以前）からはご利用いただけません



オンライン回答用番号 000000

※この番号は重複回答を防ぐためのものであり、個人が特定されることはありません

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

- この調査は、鹿児島市在住の18歳以上の方から無作為に抽出した3,000名を対象に実施しています。
- ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個人が特定されることや他の目的に使用することはありません。

このアンケートに関する問合せ先



調査実施：鹿児島市役所 住宅課 計画係
電話：099-216-1363（担当：名越）
FAX：099-216-1389

調査受託：株式会社醇まちづくり技術研究所
電話：092-737-3923（担当：西崎）
FAX：092-737-3924

1. あなたご自身やご家族・住宅等について

問1. あなたのお住まいの地域・地区の番号に○をしてください。 ※下表を参照	1. 中央地区	5. 武・田上地区	9. 吉野地域	13. 松元地域
	2. 上町地区	6. 谷山北部地区	10. 桜島地域	14. 郡山地域
	3. 鴨池地区	7. 谷山地区	11. 吉田地域	15. 不明
	4. 城西地区	8. 伊敷地域	12. 喜入地域	

表. 地域・地区別の所属町丁目

中央地域	1. 中央地区	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
	2. 上町地区	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
	3. 鴨池地区	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
	4. 城西地区	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
	5. 武・田上地区	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
谷山地域	6. 谷山北部地区	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
	7. 谷山地区	西谷山1～4丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、御本町、南栄1～6丁目、セツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
8. 伊敷地域		伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
9. 吉野地域		岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目
10. 桜島地域		桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
11. 吉田地域		西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
12. 喜入地域		喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
13. 松元地域		石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
14. 郡山地域		花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

1. あなたご自身やご家族・住宅等について (あてはまる記号に○を記入)

問2. あなたの性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
問3. あなたの年齢	1. 18～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳	5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳	9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳 13. 75～79歳 14. 80～84歳 15. 85歳～
問4. あなたの職業	1. 農林水産業 2. 自営業 3. 会社、工場、商店、団体など勤務 4. 公務員	5. パート・アルバイト 6. 無職 7. 学生 8. その他 ()	
問5. あなたの同居している世帯構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども (子が2人以下) 4. 夫婦と子ども (子が3人以上)	5. ひとり親と子ども (子が2人以下) 6. ひとり親と子ども (子が3人以上) 7. 三世帯同居(親・子・孫) 8. その他 ()	
問6. 同居中の最年少の子の年齢	1. 5歳以下 2. 6～11歳	3. 12～14歳 4. 15～17歳	5. 18歳未満の子はいない 6. 子はいない
問7. 鹿児島市の居住年数(通算)	1. 1年未満 2. 1～4年	3. 5～9年 4. 10～19年	5. 20年～29年 6. 30年以上
問8. 住宅の種類	1. 持家(戸建) 2. 持家(マンション) 3. 民間借家(戸建)	4. 民間借家(共同住宅) 5. 市営住宅や県営住宅 6. 給与住宅(社宅・官舎等) ()	7. 寮・下宿・間借りなど 8. その他
問9. 家賃や住宅ローン返済など住居費負担の影響	1. 生活必需品を切りつめるほど苦しい 2. ぜいたくはできないが何とかやっつけていける	3. ぜいたくを多少がまんしている 4. 家計にあまり影響がない	
問10. 住宅の建築時期 (およその範囲で回答下さい)	1. 昭和55年以前 2. 昭和56～平成2年	3. 平成3～12年 4. 平成13～22年	5. 平成23年以降 6. 分からない
問11. 最近5年の居住状況の変化 (複数回答可)	1. 家を新築した 2. 新築分譲住宅を買った	3. 中古住宅を買った 4. 家をリフォームした	5. 賃貸住宅に引越した 6. 変化はない
問12. 最近5年のリフォーム状況 (持家のみ) (複数回答可)	1. リフォームは実施していない 2. 増築・間取りの変更、収納スペースの改善・増加 3. 段差をなくす、手すりをつけるなどのバリアフリー化 4. トイレ・台所・浴室等の設備の改善 5. 冷暖房、電気設備(アンペア変更等)の設置・更新等	6. 太陽光発電設備を改善・設置 7. 断熱工事、結露防止工事、窓サッシの取り替え等 8. 防音、遮音工事 9. 耐震改修工事 10. 内装の模様替えや改修(壁紙・天井・床の張り替えなど) 11. 屋根のふき替え、屋根・外壁の塗り替え	

4. 現在の住まい・住環境の評価について

問18. 現在お住まいの住宅、住環境に対する満足度について、あてはまる記号に○をしてください。
(項目ごとに1つずつ○)

住宅	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	住環境	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満
	記入例：満足と回答する場合	①	2	3		4	記入例：多少不満と回答する場合	1	2
①広さや間取り	1	2	3	4	⑰通勤・通学の利便	1	2	3	4
②収納の多さ、使い勝手	1	2	3	4	⑱日常の買物などの利便	1	2	3	4
③水回りの広さ、使い勝手	1	2	3	4	⑲医療・福祉・文化施設などの利便	1	2	3	4
④いたみの少なさ	1	2	3	4	⑳福祉・介護の生活支援サービス	1	2	3	4
⑤点検や修繕など維持管理のしやすさ	1	2	3	4	㉑子どもの遊び場、子育て支援サービス	1	2	3	4
⑥換気のよさ(臭いや煙などが残らない)	1	2	3	4	㉒親・子・親せきとの距離	1	2	3	4
⑦日当たり	1	2	3	4	㉓治安	1	2	3	4
⑧断熱性(外気の暑さや冷気を室内に入れないように遮断する能力)	1	2	3	4	㉔近隣の人や地域コミュニティとの関わり	1	2	3	4
⑨エネルギー消費性能(光熱費の節約)	1	2	3	4	㉕道路の歩行時の安全性	1	2	3	4
⑩高齢者への配慮(段差や手すり等)	1	2	3	4	㉖災害時の避難のしやすさ	1	2	3	4
⑪地震時の安全性	1	2	3	4	㉗水害・津波・噴火被害の受けにくさ	1	2	3	4
⑫台風時の安全性	1	2	3	4	㉘周辺からの延焼のしにくさ	1	2	3	4
⑬火災に対する安全性	1	2	3	4	㉙騒音・大気汚染の少なさ	1	2	3	4
⑭防犯性	1	2	3	4	⑳敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	1	2	3	4
⑮遮音性	1	2	3	4	㉑公園や緑、水辺などの自然環境	1	2	3	4
⑯プライバシー確保	1	2	3	4	㉒まちなみ・景観	1	2	3	4
住宅①～⑯までの総合満足度	1	2	3	4	住環境⑰～㉒までの総合満足度	1	2	3	4
住宅・住環境①～㉒の総合満足度	1	2	3	4					

問19. 上の①～㉒の項目のうち、あなたが重要と思うものを選び、回答欄に記号を記入して下さい(8つまで)

回答欄									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5. 今後の住まいに関する意向について

問20. あなたは、今後10年で、住まいに関してどのような希望がありますか。(1つに○)			
1. できれば 住み替えたい → 問21へ	2. 住み替えずに リフォーム*したい → 問22へ	3. 住み替えずに現在の 家を建替えたい → 問22へ	4. 今のまま 住み続けたい → 問23へ

※リノベーションはリフォームに含まれます。

問21 問20で「1. できれば住み替えたい」と答えた方にお尋ねします。

問21-1. 住み替えるとしたら、どのような住宅が良いですか。(複数の希望がある際は全てに○を記入)

10. 持家	11. 新築戸建	13. 新築マンション	15. 新築中古にこだわらない
	12. 中古戸建	14. 中古マンション	16. 戸建、マンションにこだわらない
20. 借家	21. 民間共同住宅	24. 高齢者向け住宅・施設	27. 借家の種類にこだわらない
	22. 民間戸建住宅	25. シェアハウス*など	※シェアハウス:友人などグループで居住する住宅
	23. 公的賃貸住宅	26. その他 ()	

30. 持家、借家にこだわらない

問21-2. 住み替えの目的は何ですか。(記号に○、複数回答可)

1. 結婚、単身赴任などの世帯の変化への対応	7. 新しさ・きれいさ
2. 高齢期の住みやすさ	8. 住居費負担の軽減
3. 子育てしやすさの向上	9. 災害の安全性や治安向上
4. 広さや部屋数	10. 通勤通学の利便性
5. 住まいの使いやすさ	11. 日常の買い物、医療などの利便性向上
6. 住宅性能(断熱、省エネなど)の向上	12. その他 ()

問21-3. 住み替えの課題は何ですか。(記号に○、複数回答可) → **回答後は問23へ**

1. 資金・収入等の不足	6. 相談できる専門家がいない
2. 希望エリアの物件が不足	7. 信頼できる業者がいない
3. 予算の範囲で気に入る物件がない	8. 保証人がいない
4. 現在の住まいの売却・賃貸	9. その他 ()
5. 住宅性能や周辺環境などの情報が得にくい	10. 特に問題はない

問22 問20で「2. リフォームしたい」「3. 建替えたい」と答えた方にお尋ねします。

問22-1. リフォーム・建替えの目的は何ですか。(記号に○、複数回答可)

1. きれいにする(傷みを直す)	6. 親、子などとの同居
2. 高齢期の住みやすさ	7. 広さや部屋数
3. 使いやすさの向上	8. 子育てのしやすさ
4. 災害時の安全性の向上	9. コロナ禍への対応
5. 住宅性能(断熱、省エネなど)の向上	10. その他 ()

問22-2. どのようなリフォーム・建替えを予定していますか。(記号に○、複数回答可)

1. 設備の更新・改善	4. 段差の解消・手すりの設置	7. 省エネルギー性能の向上
2. 外装・内装の更新・改善	5. 窓・壁等の断熱・結露防止	8. その他
3. 間取りの変更・増築	6. 壁・柱・基礎などの補強 ()	

問22-3. リフォーム・建替えの課題は何ですか。(記号に○、複数回答可) → **回答後は問23へ**

1. 資金・収入等の不足	4. 相談できる専門家がいない	7. 特に問題はない
2. 住宅性能などの情報が得にくい	5. タイミング	
3. 信頼できる業者がいない	6. その他 ()	

6. 住まいの災害対策について

問23. 住宅に関して実施したことがある災害への備えは何ですか。(記号に○、複数回答可)	
1. 住宅の耐震診断をした	6. 窓ガラス等の飛散防止をした
2. 住宅の耐震補強をした	7. 太陽光発電、V2H(※)、蓄電池など停電対策をした
3. 古い住宅を建替えた	8. 家具の転倒防止対策をした
4. 災害危険性が低い地域に住み替えた	9. その他 ()
5. ブロック塀の点検や転倒防止対策をした	10. 特にしていない

※V2H：電気自動車から住宅に電力を供給する仕組み

7. 住まいの省エネ・環境配慮について

問24. あなたの住まいの省エネ対策・環境配慮について、「現在導入しているもの」、「導入したいもの」があれば、当てはまる項目の記号に○を記入して下さい。(※どちらも該当しない場合、○は不要)					
	現在、 導入して いるもの	導入したい もの		現在、 導入して いるもの	導入したい もの
① 太陽光発電	1	2	⑩ LED照明器具	1	2
② 太陽熱温水器	1	2	⑪ 人感センサ付き照明器具	1	2
③ 高効率空調機(省エネラベル★ 2つ以上が目安)	1	2	⑫ 全熱交換器 (熱回収可能な換気装置)	1	2
④ 家庭用燃料電池(ガスで発電・ 給湯する設備、エネファーム)	1	2	⑬ 浴室・脱衣所の断熱化や 暖房器具の設置	1	2
⑤ 高効率給湯器(エコキュート)	1	2	⑭ 水洗、トイレなどの節水機器	1	2
⑥ 外壁、天井等の断熱化	1	2	⑮ 雨水貯留タンク	1	2
⑦ 二重窓、遮熱窓など 窓の断熱遮熱化	1	2	⑯ 消費エネルギーの見える化 (HEMS(※)など)	1	2
⑧ 遮熱塗料やルーバー(細長い板を隙間 を空けて並べたもの)等による日射遮蔽	1	2	⑰ 再生可能エネルギー(太陽光・ 風力など)由来の電力の購入	1	2
⑨ 蓄電池	1	2	⑱ コンポスト(生ごみ処理機)	1	2

※HEMS：消費エネルギーの見える化や最適化の制御を行うシステム。

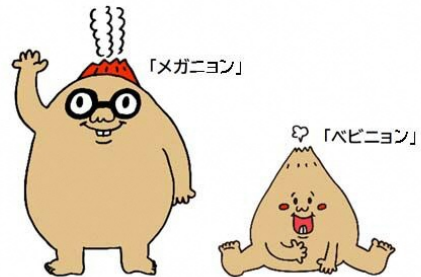
8. 住宅関連の認定制度等について

問25. 国が推進する住宅関連の認定制度等について、知っているもの、利用したいものに○をしてください。			
認定制度など	概要	知っている 認定制度等	利用したい 認定制度等
	記入例：「知らない」が「利用したい」場合の記入方法	1	②
①長期優良住宅	住宅を長期間良好な状態で使用できるよう、構造、品質、性能などが基準に適合した住宅を認定する制度。新築後一定期間の固定資産税が減額される。	1	2
②住宅性能表示制度	住宅性能の相互比較がしやすいよう、第三者による客観的な住宅性能の評価を行う制度。条件に応じて住宅ローン金利や保険料が優遇される。	1	2
③安心R住宅	中古住宅の品質やリフォーム、情報開示等の条件を満たす場合、「安心R住宅」のロゴを表示できる制度。消費者が安心して中古住宅を購入できる。	1	2
④ZEH(ネット・ゼロ・ エネルギー・ハウス)	断熱化や高効率設備による省エネ、太陽光発電による創エネ等により一次エネルギー消費の収支が正味ゼロとなる住宅。条件に応じて補助金がある。	1	2
⑤BELS(建築物省エネ 性能表示制度)	建築物の省エネルギー性能を評価し、その性能を表示する制度。建築物の省エネルギー性能が客観的に評価される。	1	2
⑥認定低炭素住宅	二酸化炭素の排出抑制に資する建築物で、都道府県や市区が認定する住宅。所得税や登録免許税が軽減される。	1	2
⑦LCCM(ライフサイクル カーボンマイナス)住宅	建設から廃棄までのライフサイクルにおいて、省CO ₂ と創エネ(太陽光発電等)により、CO ₂ 排出をマイナスにする住宅。条件に応じた補助金がある。	1	2

11. 親・子との同居・近居について

問30. あなたは現在、別居している家族がいますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|---|-------------|
| 1. 別居の親がいる | → | 問31へ |
| 2. 別居の子がいる | → | 問31へ |
| 3. 別居の親・子の両方がいる | → | 問31へ |
| 4. 別居の親・子はいない | → | 問32へ |



問31 問30で「1. 別居の親がいる」、「2. 別居の子がいる」、「3. 別居の親・子の両方がいる」を選んだ方にお尋ねします。

問31-1. 親または子と、同居または近居(片道徒歩15分程度に住む)したいと思いませんか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 同居したい | 4. 同居も近居も希望しない |
| 2. 同居ではなく近居(片道徒歩15分程度)したい | 5. その他 () |
| 3. 同居か近居のどちらかをしたい | 6. 特に考えていない |

問31-2. 同居または近居に至っていない理由は何ですか。(記号に○、複数回答可) → **回答後は問32へ**

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 同居も近居も希望しないから | 6. 住宅がバリアフリー(手すり設置や段差解消等)でないから |
| 2. 引越し費用がかかるから | 7. 住宅の使い勝手が悪いから |
| 3. リフォーム費用がかかるから | 8. 通勤や通学に影響があるから |
| 4. 住宅の広さや部屋の数が不足しているから | 9. 親または子が同居・近居を希望していないから |
| 5. 同居・近居に適切な住宅が見つからないから | 10. その他 () |

12. 民間賃貸住宅への入居について

問32. あなたは民間賃貸住宅の入居の際に、入居を断られたことがありますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|-----------------|---|-------------|-------------------------|---|------|
| 1. 入居を断られた経験がある | → | 問33へ | 3. 民間賃貸住宅に入居しようとしたことがない | → | 問34へ |
| 2. 入居を断られたことはない | → | 問34へ | | | |

問33 問32で「1. 入居を断られた経験がある」と答えた方にお尋ねします。

問33-1. 入居を断られたのは何が理由だと思いませんか。(記号に○、複数回答可)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 高齢者だから | 7. 性的少数者(LGBTなど)であるから |
| 2. 障害や病気があるから | 8. 収入が低いから |
| 3. 外国人だから | 9. 失業中だから |
| 4. 小さい子どもがいるから | 10. 保証人がいないから |
| 5. 新婚または妊婦だから | 11. その他 () |
| 6. ひとり親家庭だから | 12. 分からない |

問33-2. 希望する民間賃貸住宅へ入居するために、必要な支援は何ですか。(記号に○、複数回答可)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 入居を拒まない物件の情報提供 | 7. 入居後の緊急時の対応支援 |
| 2. 賃貸住宅を探すときの相談体制 | 8. 賃貸物件オーナーの意識啓発 |
| 3. 保証人、保証会社などの紹介、あつせん | 9. その他 |
| 4. 契約の時などの立会人の派遣 | () |
| 5. 家賃補助 | 10. 特にない |
| 6. 入居後の居住支援(見守り、生活相談等) | 11. わからない |

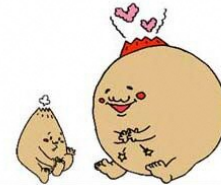
13. 現在、所有している住まいの処分・活用について

問34. 現在の住まいを必要としなくなった場合、住宅はどうなる予定ですか。(1つに○)

1. 現在の住まいは持家でない	3. 賃貸、売却、解体などを行う	5. 分からない
2. 子、親族などが住む	4. 空き家になる	6. その他 ()

問35. 現在お住まいの住宅以外に所有する住宅がありますか。(1つに○)

1. 現住居以外に住宅を所有している	→ 問36へ
2. 現住居以外に住宅を所有していない	→ 問37へ



問36 問35で「1. 住宅を所有している」と答えた方にお尋ねします。

問36-1. 現在居住する住宅以外に所有する住宅をどのように利用していますか。(記号に○、複数回答可)

1. 親族が住んでいる	4. 空き家になっている (定期的に管理)
2. 賃貸住宅として貸している	5. 空き家になっている (管理していない)
3. セカンドハウス、倉庫などで利用している	6. 分からない

問36-2. 現在居住する住宅以外に所有する住宅について、困っていることがありますか。(記号に○、複数回答可) → 回答後は問37へ

1. 特に困っていない	6. 維持管理が負担になっている
2. 活用したいが相談先が分からない	7. 権利関係の問題で自由に活用・売却できない
3. 売却したいが相談先が分からない	8. 借借人とのトラブルがある
4. 物件が古く、改修費用が負担	9. 購入または入居希望者が見つからない
5. 立地が悪く、活用・売却しにくい	10. その他 ()

14. 住まいに関して困っていること

問37. 住まいに関して困っていること (または将来の不安) を教えてください。(記号に○、複数回答可)

1. 住宅の管理や修繕が自分では難しい	11. 緊急時などに連絡できる人や頼る人がいない
2. 庭木の手入れが自分では難しい	12. 高齢期、配偶者との死別等により一人暮らしになった場合に生活していけるか不安
3. 住宅ローンの返済が負担	13. 住み替えたい時に条件に合う家が見つかるか不安
4. 家賃や共益費などの支払いが負担	14. 高齢期、住み慣れた地域に、自分に合った高齢者向けの施設が見つかるか不安
5. 住宅がバリアフリー (手すり設置や段差解消等) でないことが不安	15. 災害時に安全な場所に避難できるか不安
6. 地震や豪雨などの災害時に大きく壊れないか不安	16. 生活習慣や文化の違いが分からないことがあり苦勞している
7. 現在住む場所では買い物や通院などが大変	17. その他 ()
8. 建物解体等の理由で退去を求められないか不安	18. 特にない
9. 高齢、障害、国籍、性的少数者 (LGBTなど) が理由で入居を断られないか不安	
10. 日常のゴミ出しや家事などが大変	

問38. 困っていること (または将来の不安) は誰に相談したいと思いますか。(記号に○、複数回答可)

1. 子や親、親族	6. ケアマネージャー (介護支援専門員)
2. 市役所 (建築、福祉関連部署など)	7. 弁護士や司法書士など
3. 民生委員	8. 不動産事業者や工務店など
4. 町内会長・自治会長等	9. その他 ()
5. 社会福祉協議会、地域包括支援センター	10. 誰に相談すれば良いか分からない

15. 住生活に関する鹿児島市の取り組みについて

問39. 鹿児島市の住まいやまちづくりに関して、取り組みの重要性をどのように考えますか。
項目毎に最も近い記号1つに○をしてください。

項目	重要	まあ重要	重要でない あまり	重要でない
① 子育て世帯が子育てしやすい住宅を取得・住み替えしやすい環境づくり	1	2	3	4
② 見守りや相談体制など、高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	1	2	3	4
③ 住宅に困っている人、被災者が市営住宅や民間賃貸住宅に入居しやすい環境づくり	1	2	3	4
④ 希望する人が鹿児島市へ移住しやすい環境づくり	1	2	3	4
⑤ バリアフリー改修など高齢者等が安全に暮らせる住まいづくり	1	2	3	4
⑥ 耐震改修や宅地の耐震化など、災害に強い住まいづくりや災害への備え	1	2	3	4
⑦ 住宅の性能や質が高く、快適で、健康に生活できる住まいづくり	1	2	3	4
⑧ 空家の発生を抑えたり、空き家を活用しやすい環境づくり	1	2	3	4
⑨ 安全な中古住宅を安心して購入できる環境づくり	1	2	3	4
⑩ 住宅の日常的な点検やリフォームなど、今ある住まいを長く大切に使う取り組み	1	2	3	4
⑪ マンションの適正な管理を支援する取り組み	1	2	3	4
⑫ 太陽光発電の導入や壁・窓の断熱化など、住宅の省エネ化の取り組み	1	2	3	4
⑬ 森林の循環利用に寄与し地球温暖化対策に貢献できる木造住宅の普及・振興	1	2	3	4
⑭ テレワークなど新たな生活様式に対応した住まいづくりの支援	1	2	3	4
⑮ 雨水利用やフードロス削減など資源を大切に持続可能な取り組みの支援	1	2	3	4
⑯ 地域コミュニティ形成を支える活動支援や拠点づくり	1	2	3	4
⑰ 郊外の大規模団地の活性化・利便性の向上	1	2	3	4
⑱ 日常的な買い物や公共交通、公共施設などの利便性の向上	1	2	3	4
⑲ 生活道路や公園などの安全・快適な住環境づくり	1	2	3	4
⑳ 地域の個性を生かした景観・街並みづくり	1	2	3	4
㉑ 住宅や住環境の防犯性や治安の向上	1	2	3	4
㉒ 自然環境が充実した緑あふれる住環境づくり	1	2	3	4
㉓ 建設、流通、生活支援など住生活関連事業者の技術力・サービス向上に対する支援	1	2	3	4

問40. 上記の①～㉓の項目のうち、特に重要と思うものを選んで、
回答欄に記号を記入して下さい（3つまで）

回答欄

16. その他、鹿児島市における住生活について、ご意見がありましたら、自由にご記入下さい。



ご回答ありがとうございました。

同封の封筒(切手は不要)にて11月20日(日)までに投函をお願いします。